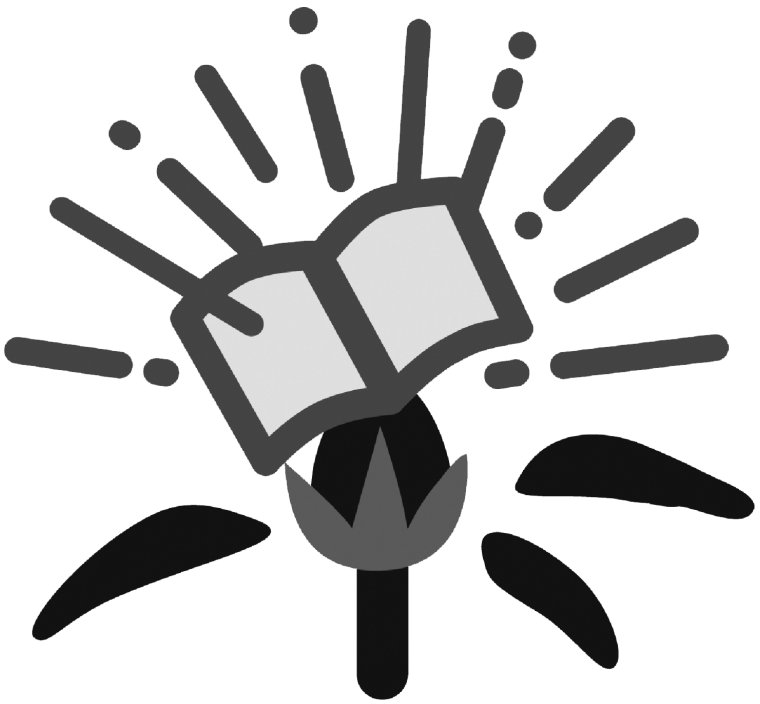
令　和　7　年　度

山形県立図書館要覧



山形県立図書館

Yamagata Prefectural Library

目　　次

１　山形県立図書館のあゆみ ---- 1
２　山形県立図書館令和７年度運営方針 ---- 5
３　山形県立図書館の組織 ---- 11
４　山形県図書館協議会 ---- 12
５　山形県立図書館の予算・決算 ---- 13
６　施設の現状 ---- 14
７　所蔵資料 ---- 15
（１）蔵書、視聴覚資料等 ---- 15
（２）データベース（オンライン資料） ---- 16
８　レファレンス協同データベース（国会図書館） ---- 17
９　パスファインダー ---- 18
１０　セット資料貸出 ---- 20
１１　絵本の本棚 ---- 21
１２　ティーンズコーナー・GATE★BOOK（ゲートブック） ---- 21
１３　利用の状況 ---- 22
（１）図書館利用概況 ---- 22
（２）図書資料利用状況の推移 ---- 23
（３）図書資料貸出利用の年齢構成 ---- 24
（４）図書資料予約受付数 ---- 24
（５）県立図書館から市町村立図書館（室）への貸出数推移 ---- 25
（６）調査相談件数の内訳 ---- 26
１４　令和６年度の主な取組み ---- 27
１５　利用の案内 ---- 36
１６　市町村立図書館の設置状況 ---- 37
１７　縣人文庫展示者のプロフィール ---- 38
１８　ふるさと納税 ---- 40
１９　山形県立図書館　雑誌スポンサー ---- 41
２０　山形県立図書館利用規程 ---- 42

1　山形県立図書館のあゆみ

【 月.日 】

年	山形県立図書館	県内図書館等
明治18		谷地読書協会創立 【2.--】
33		谷地青年会発足、青年文庫設置 【5.10】
34		酒田書籍購読会発足 【10.--】
36		私立山形図書館、開館(私立山形幼稚園の階上)【4.3】
37		酒田書籍購読会を酒田文庫と改称 【4.--】
38		私立置賜図書館(長井町)創設 【4.--】 平民文庫縦覧所(山形市)設置 【7.--】
39		明倫文庫(新庄町)創立 町立荒砥図書館(荒砥小学校内)創立 【6.17】 私立照心書院(長井町)創立 【8.--】
41	東宮行啓記念事業として県立図書館の創立を県議会が決議【12.--】	小松至誠会付属図書館、創立 【12.--】
42	私立山形図書館閉館、蔵書等を県立図書館に寄贈 【3.31】 「行啓記念山形県立図書館」設立認可(文部省告示)【5.13】	赤湯町立図書館、創立 【8.--】 南村山郡立図書館(上山町)創立【9.--】 財団法人米沢図書館、開館 【10.17】 酒田文庫を私立酒田図書館と改称 【12.--】
43	行啓記念山形県立図書館落成(総建坪119坪) 行啓記念山形県立図書館開館、一般閲覧開始 【5.25】	
44	山形市北部大火、本館類焼、蔵書10,344冊を焼失【5. 8】 仮事務所を専称寺に置く【6.1】	私立鶴岡図書館、設立 【11.--】
大正元	山形物産陳列場に仮事務所を移転 【11.11】	村立余目図書館(余目尋常高等小学校に併設)開館【11.1】
2	行啓記念山形県立図書館の新館舎落成(建坪143.5坪)【12.31】	
3	新館舎での一般閲覧開始 【3.5】	
4		私立左沢文庫、創立 【3.--】 鶴岡町立図書館(大宝館に併設)創立 【11.10】 谷地図書館設立、開館 【11.24】
5		西村山郡立図書館(寒河江市)創立 【 4.--】 第11回全国図書館大会を山形ほかで開催 【10.9】
9	受験用巡回文庫創設(県下中学校を巡回) 【1.--】	
12		財団法人光丘文庫、設立 【6.1】
14		山形県図書館協会、設立 【7.10】 私立酒田図書館、蔵書を光丘文庫に寄贈して解散 【3.28】
昭和3		新庄町立図書館、創設 【4.1】 東北北海道図書館連盟、成立 【4.29】
9	行啓記念山形県立図書館を山形県中央図書館に指定(改正図書館令) 【4.19】	
10		赤湯町立図書館臨雲文庫、開庫 【4.29】 山形県図書館協会、農村更生文庫設立 【12.--】
11		「山形県図書館協会報」創刊 【4.20】、第12号より「山形文化時報」に改名

年	山形県立図書館	県内図書館等
昭和13		財団法人米沢図書館の寄附を受け、市立米沢図書館設立【4.1】
14		小松至誠会付属図書館、小松町立図書館となる　【4.27】
20	図書館蔵書を東沢村蓬来寺に疎開 7,410冊 【7.20】、 3,937冊 【8. 3】 疎開蔵書帰還 【10.21】 進駐軍への図書館舎明渡し通告【11.22】、図書館事務室は日赤山形県支部に移転し、蔵書は山形二中に移転	
21	山形県婦人会館の2階で一部一般閲覧開始 【6.17】	
22		山形県読書連盟発足 【12.14】
23	仮館舎、山形中学校剣道場での一般閲覧開始 【2.16】	
24		寒河江町立図書館、設立 【11.--】
25	日本十進分類法(新訂6版)、日本目録規則、日本件名標目法を採用 【6.6】 「行啓記念山形県立図書館」を「山形県立図書館」に改称、山形県中央図書館の指定解除 【7.30】 山形県立図書館条例制定 【8.31】	酒田市立図書館(光丘文庫に併設)創立 【4.1】 図書館法公布 【4.30】、施行 【7.30】
26	初の移動図書館を実施 【10.12】	
27	田川地区(鶴岡)、最上地区(新庄)に配本所設置 【4.--】	
28	仮館舎から本館に戻り閲覧開始 【3.1】 館報「図書館だより」発刊 【5.10】 東南置賜(宮内)、西置賜(長井)、西村山(左沢)、北村山(楯岡)に配本所設置 【6.--】 飽海地区(酒田)に配本所設置 【9.--】	私立龍門図書館、設立 【11.--】 山形県公共図書館協議会、結成 【11.3】
30	南置賜地区(米沢)に配本所設置 【3.--】 東南村山地区(天童・上山)に配本所設置 【6.--】 田川地区配本所を鶴岡分館に 【7.1】、南置賜配本所を米沢分館とする【11.--】	
31	最上地区配本所を新庄分館とする 【6.--】	
32	飽海地区配本所を遊佐町に移転し、市立酒田図書館内に酒田分館を設置【5.--】	山形点字図書館を山形盲学校内に創設 【12.--】
33		財団法人光丘文庫、酒田市に寄贈【4.1】 酒田市立光丘図書館に改称
34	赤湯分館を設置 【9.--】 北村山配本所を尾花沢市に移転 【11.--】	
36	自動車文庫(やまなみ号)巡回開始 【10.2】	
37	図書館新築(県民会館と併設～図書館面積 2,212㎡)、開館 【8.16】	
40		山形県公共図書館協議会を山形県図書館協会に改称【6.10】
42		町村合併により南陽市立図書館開館、赤湯町立図書館臨雲文庫を南陽市立結城記念館に改称 【4.1】
46		川西町立図書館、開館 【7.--】
47	分館の廃止 【6.--】	
50		西川町立図書館、開館 【10.1】
51	協力車運行開始(自動車文庫「やまなみ」廃止) 【4.--】	山形新聞社内に山形中央図書館開館 【9.25】
52	「山形県関係文献目録」刊行 【3.25】	
53		山形県立点字図書館、開館 【4.1】

年	山形県立図書館	県内図書館等
昭和54		村山市立図書館（旧、私立喜早彦太図書館）開館 山形市立図書館新築、開館 【7.1】 尾花沢市民図書館開館 【7.--】
56		長井市立図書館移転新築し、開館【5.20】
57		酒田市立中央図書館（総合文化センターに併設）開館【4.1】
58		高畠町立図書館、開館 【4.1】 天童市立図書館移転新築し、開館 【7.1】
60		鶴岡市立図書館移転新築し、開館 【7.24】
61		櫛引町立図書館、開館 【4.--】
62		遅筆堂文庫（川西町）開館 【8.--】
63	「県立図書館、生涯教育センター」の着工 【1.30】	新庄市立図書館移転新築し、開館 【8.3】
平成元		山形地区図書館連絡協議会、現物(相互)貸借申合わせ実施【10.20】
2	遊学館（県立図書館 6,085㎡、生涯学習センター 5,641㎡）へ移転、開館 【7.28】	
3	「山形県内出版物目録」刊行開始 【3.--】	飯豊町町民総合センター図書室、開館 【7.21】 遊佐町立図書館新築、開館 【7.23】 寒河江市立図書館移転新築し、開館 【12.10】
4		山形県公共図書館(図書室)相互貸借規程など図書館間協力に関する諸規程を整備 【10.21】
5	「山形県立図書館運営方針」 【3.--】	山形県図書館協会、「特定主題文献目録」刊行 【3.--】
6		川西町立図書館・遅筆堂文庫、川西町フレンドリープラザに移転し、開館 【8.1】
7		河北町立中央図書館（総合交流センターに併設）開館【6.16】
8		上山市立図書館移転新築（カミンの5階）、開館 【6.1】
9		尾花沢市学習情報センター（悠美館）に尾花沢市民図書館移転 【4.29】
11		東根市さくらんぼ図書館（JRさくらんぼ東根駅舎に併設）開館【12.4】
12	全国公共図書館奉仕部門研究集会を、遊学館において開催 【10.5～6】	朝日町立図書館（「創遊館」に併設）移転、開館 【6.5】
13		南陽市立図書館（「えくぼプラザ」に併設）移転 【3.27】
14	山形県立図書館ホームページを開設、インターネットによる蔵書検索の公開 【4.19】	
15	「県立図書館運営方針(改訂版)」 【3.--】 山形県関係文献目録をインターネットに公開 【4.16】	
16		新聞雑誌に関する協定(分担収集)、施行 【6.30】
17	新図書館情報システム運用開始 【4.5】	ゆとり都OPAC公開 【3.18】 立川町、余目町合併により庄内町立図書館及び分館発足【7.1】 鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町合併により藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海分館発足 【10.1】 酒田市、八幡町、松山町、平田町合併により八幡、松山分館及びひらた図書センター発足 【11.1】
18	開館日の拡大～祝日（月曜日及び年末年始を除く）、1月4日、12月28日を開館日に変更 【4.1】 カウンター業務に全て司書有資格者（嘱託18名）を配置【4.1】 生涯学習センターに指定管理者制度を導入 【4.1】	県教育委員会、「山形県子ども読書活動推進計画」策定【2.--】

年	山形県立図書館	県内図書館等
平成19	山形県公立図書館横断検索システム運用開始【6.22】 インターネット予約貸出しシステム運用開始【10.2】	河北町立中央図書館、川西町立図書館、指定管理者制度導入 【4.1】
20		天童市立図書館、指定管理者制度導入 【4.1】
21		新庄市立図書館、長井市立図書館、指定管理者制度導入【4.1】
22	山形県立図書館開館100周年記念事業実施 【11.6】	東根市さくらんぼ図書館、指定管理者制度導入 【4.1】 村山市立図書館(「甑葉プラザ」内)移転 【5.29】
23	図書館情報システム更新 【3.1】	
24		中山町立図書館移転、開館 【4.30】
25	全国公共図書館研究集会(サービス部門　総合・経営部門)を、村山市甑葉プラザで開催 【10.24～25】	
26	Facebook開設【2.21】	
27	県図書館協議会が「県立図書館の将来のあり方について」を提言 【3.18】 図書館ボランティア活動開始【8.--】	
28	ICタグの導入・ICゲート設置【2.25】 「県立図書館活性化基本計画」策定【3.--】 マルチメディアDAISY図書貸出開始【4.--】	遊佐町立図書館、指定管理者制度導入【4.1】 市立米沢図書館(新文化複合施設「ナセBA」内)移転【7.1】 大江町立図書館移転、開館【7.18】 東根市図書館(東根市公益文化施設「まなびあテラス」内)移転【11.3】
29	図書館情報システム更新 【3.14】 ・自動貸出機設置 ・ホームページのリニューアル(横断検索《市町村等図書館の蔵書検索》の検索時間短縮、貸出延長手続きがHPで可能 県立図書館の大規模改修計画の概要発表【12.19】	鶴岡市立図書館羽黒分館移転、開所 【1.10】 大石田町立図書館新設・開館【9.1】
30	県立図書館大規模改修工事開始 第1期工事【9.1～12.28】	
31 令和元	県立図書館大規模改修工事 第2期工事【H31.2.--～R1.9.27】 第1期工事完了後の2階の一部を臨時図書館エリアとしてサービス開始【2.12】 リニューアルオープンに向けての臨時休館【9.15～1.31】	白鷹町立図書館建替、開館【6.15】 高畠町立図書館移転、開館【7.27】
02	新型コロナウイルス対応会議立上げ【1.31】 リニュアルオープン【2.1】(6,085㎡ ⇒ 7,282㎡) ・デッキエリア、こどもエリア、アクティブラーニングルーム、ティーンズコーナー、ビジネス支援コーナー等新設 ・Wi-Fi、デジタルサイネージ、駐車場等新設 開館日の拡大(第2、第4月曜日開館)【2.--～】 新型コロナウイルス感染予防のため利用制限開始【3.3～】 新型コロナウイルス感染予防のため臨時休館【3.28～5.11】 一部サービス再開、開館【5.12～】 開館時間20時まで拡充【8.1～】	
03	X(旧ツイッター)開設【8.18】 理科好きの子どもを育む人材育成に係る山形大学理学部等との連携協定締結【9.30】 YouTube開設【12.14】	
04	「山形県立図書館運営基本プラン2025」の策定【3.--】	酒田市立図書館(複合施設酒田駅前交流拠点施設「ミライニ」に併設)移転【5.5】
05	図書館情報システム更新 【3.1】 図書館ボランティア活動再開【7.--】 「サピエ図書館」加盟【7.5】	庄内町立図書館分館(立川複合拠点施設内)移転【7.18】 長井市立図書館(長井市遊びと学びの交流施設「くるんと」内)移転【9.1】 庄内町立図書館本館第1期工事竣工仮オープン【9.30】
06	対面朗読サービス開始【1.22】 インターネットでの利用者登録申請開始【2.19】 Instagram開設【3.6】 運営協力サポーター制度を創設【7.1】 電子書籍サービス開始【11.19】	寒河江立図書館、指定管理者制度導入【4.1】 東北農林専門職大学附属図書館新設・開館【4.1】 庄内町立図書館本館全館供用開始【5.2】

２　山形県立図書館 令和７年度運営方針

Ⅰ　運営方針

「山形県立図書館運営基本プラン２０２５（令和４年３月策定）」に掲げる『県民一人ひとりの生涯学習の基盤となり、知の集積と循環によって、新たな知恵や活力を生み出し、県民の成長と地域の賑わいに貢献する図書館』を目指し、“ときめく図書館”、“たよれる図書館”、“つながり・ひろがる図書館”の３つの行動指針等に基づき運営する。

Ⅱ　今年度の施策

１　ときめく図書館　～学びの意欲を喚起する空間の提供～

（１）本との出会いを演出し、賑わいの拠点となる空間づくり

①　図書館機能を活用し、多様な主体と連携して実施する賑わいの創出

・多様な主体と連携し、民間など外部の視点によるアイデア等を取り入れるための「賑わいづくり企画・実行委員会」の開催（２回）

・年間を通した賑わいを創出するため、季節毎に図書館フェスタを開催（４回）

・ＮＰＯ法人ガリレオ工房、山形大学理学部との連携による、「理科読」の手法を用いた子ども向け科学教室の開催（「理科読マイスター」の実践の場の提供）

・多様な主体が図書館機能を活用して実施する取組みへの積極的な協力（近隣高校による各種講座や図書館コンサートの開催など）

②　知的探究心を刺激し、来館のきっかけとなる企画の実施

・社会情勢・時節を捉えたタイムリーな企画展示をはじめとした、県民と資料等を結ぶ多様な分野の企画展示や講座等の開催（図書館所蔵の農業系データベースを活用した農業支援講座の開催など）

・賑わい創出の取組みと連動した企画展示の実施

・県立図書館を拠点とした集いや学びを県全域へ発信・共有する、オンライン形式やハイブリッド形式による講座・イベントの開催

③　リニューアルした図書館の魅力を伝える企画展示やイベント等の継続的な開催

・年間を通した賑わいを創出するため、季節毎に図書館フェスタを開催（再掲）

・外部サイト（やまがた子育て応援サイト、親子お出かけ情報サイト「いこ～よ」など）の活用による子どもとその家族をターゲットとした利用情報・イベント情報の発信

・「本の森通信」の発行（２回）

・ラジオモンスター「ママクラブ」での情報発信

④　遊学館内の施設や近接する施設との連携による生涯学習の拠点機能の充実

・県生涯学習センターをはじめ、生涯学習の複合施設に所在する利点やカフェレストランが入居する特徴を活かした企画展示やイベント、情報発信の充実（チェリアフェスティバル（10 月上旬)やレストランイルブルと連携した企画展示等）

・「歴史文化ゾーン」を構成する文翔館、洗心庵及び教育資料館等と連携したエリアとしての賑わいづくりの推進（４施設合同企画展示等）

・他の文化施設やイベントとの連携による回遊・来館の促進（「やまがた文化の回廊フェスティバル」への参加など）

⑤　縣人文庫の展示の充実

・テーマ設定による常設展示内容の展示替え

・時宜に合わせて、常設展示２２人以外で活躍した県人の企画展示を実施
（これまでの実績：日塔貞子(R2)、錦三郎(R3～R4)、井上ひさし（R6）など）

⑥　県立図書館職員の専門性と接遇力の向上

・図書館業務に関する専門性の向上や児童サービス、情報発信力の向上等の課題への対応に向けた、外部研修等への参加促進及び館内研修の開催

（２）乳幼児から高齢者まで生涯にわたり利用できる図書館づくり

①　乳幼児期からの利用促進と読育の推進

・こどもエリアにおけるテーマを設定した展示の実施（年６回）

・「紙芝居のひろば」（毎月第三土曜日）や「おはなし会」（毎月第四日曜日）など毎月定例的な読み聞かせ会の実施

・子ども読書週間における企画展や関連行事「絵本とうたの会」の開催
（４～６月、絵本の展示、山形西高の合唱など）

・県国際交流協会と連携した交流員による外国絵本等の読み聞かせ会の開催(年４回)

・村山教育事務所等と連携した読育関連イベントの実施（10～12 月）

・絵本作りを体験するイベントの開催（７月）

②　児童・生徒の利用促進

・ティーンズコーナーにおける新着お薦め本の紹介展示（通年）

・高校図書委員会との連携によるお薦め図書と手作り POP の併設展示（12～２月）

・夏休み特集の展示（７・８月、自由研究・工作、読書感想文関連）

・「GATE☆BOOK」の発行（年２回）

③　ビジネス及びリカレント等の支援

・担当司書企画によるミニ展示の実施（ビジネスマナーなど）

・県担当課・中小企業関連機関との連携展示の実施

④　県民の読書活動の推進

・子ども読書週間における企画展や関連行事「絵本とうたの会」の開催【再掲】
（４～６月、絵本の展示、山形西高の合唱など）

・秋の読書週間に合わせ、「県内出版物展」の開催（10･11 月）

⑤　ユニバーサルデザインの視点に立ち、快適かつ安全安心に利用できるサービスの推進

・新型コロナやインフルエンザ等の感染症の感染防止対策を実施

・「遊学館」防災訓練の実施（２回実施、火災・地震を想定）

・対面朗読サービスのオンライン利用開始（４月）とサピエ図書館への継続加盟

・読書バリアフリーの推進に向けた企画展示及びイベントの開催（６月）

【目標指標】

指　標　名	実　績 令和６年度(2024 年度)	目　標 令和７年度(2025 年度)
新規利用登録者数	3,173 人	各年度４千人以上
個人貸出冊数	287,948 冊	380,000 冊
イベント参加の満足度(５段階評価)	アンケートを実施した 19 イベント中 18 イベントで ４以上	アンケートを実施した 全てのイベントで４以上

2　たよれる図書館　～県民を支える資料の収集・活用と県内図書館との連携強化～

（1）県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する蔵書づくり

①　「山形県に関する資料は県立図書館にある」ことを目指した郷土に関する資料の収集・保存とその効果的な活用

・県立図書館資料収集方針に基づく資料の選定･収集･保存
　→行政資料から民間出版物まで本県に関わる郷土資料の網羅的収集
　→県人・県関係者の著作の積極的収集
・郷土資料・行政資料の効果的な収集のため、新聞・雑誌等を活用した情報収集を行い、県内の学校や企業等に対し積極的な提供を依頼
・郷土愛の育成に向け、豊かな自然、山形ならではの歴史や文化、特色ある産業など、本県の魅力を伝える図書資料の積極的な収集と企画展示等への活用
・探究型学習をはじめ学校の教育や活動で活用可能な蔵書や電子資料等の充実と教員が参集する会議や学校訪問等を通した利用の周知
・パスファインダーの充実（既作成内容の確認・更新）

②　全世代の県民の学びと希望の実現を支援する資料の充実

・県立図書館資料収集方針に基づく資料の選定･収集･保存（再掲）
　→市町村立図書館での収集が困難な高額資料、専門書、参考資料等の収集
　→県民の生涯学習や調査研究など課題解決のための資料収集
　→県の施策に即した事業や社会的関心の高い分野に関する資料収集
　→活字による読書が困難な方へのサービス向上のためのデイジー図書、ＬＬブック、大活字本等の整備
・資料の持続的な整備充実に向け、不要となった資料の除籍の着実な実施

③　身近な課題の解決を支援する資料とレファレンス（調査相談）の充実

・迅速な課題解決・回答に向けた採録項目・内容の充実
・ホームページ上の文献目録の充実
・調査依頼から回答まで迅速な対応によるサービスの充実
・図書館資料公衆送信サービス開始に向けた検討

④　安全安心に役立つ資料の収集保存と活用

・今後の教訓となる大規模災害の記録、県民の防災意識の向上や防災力の強化、災害対応に役立つ資料の積極的収集と企画展示等での活用

⑤　県内地方公共団体の政策決定や行政事務に必要な資料・情報の収集と提供

・県の施策に即した事業や社会的関心の高い分野に関する資料収集（再掲）

（２）県内図書館全体のサービス充実に向けた県立図書館の役割の発揮

①　県立図書館の特性や役割を踏まえた県内図書館への支援の充実

・利用カードを持たない方でも県立所蔵の資料を借りられる「相互貸借」の周知強化及び市町村立図書館（室）の声を踏まえた運用改善
・市町村立図書館(室)との間で現状や課題、情報の共有とネットワークの強化を図るため、実務者会議を開催するとともに、巡回訪問を計画的に実施
・高等学校図書館、大学図書館の現状や課題の把握、情報共有等を目的とした巡回訪問の実施
・各市町村・各校のニーズや課題に応じた、一括特別貸出及びセット貸出の利用推奨、セット貸出資料の内容見直しによる充実
・県内公共図書館が連携して新聞・雑誌を収集保存するための情報提供
・市町村立図書館(室)と連携した「移動図書館」の実施
・学校図書館のニーズを踏まえた「移動図書館」の実施

②　県内図書館を支える職員等の研修の充実

・「第 45 回山形県図書館研究大会」の開催（10 月頃、村山地域）
・受講者ニーズを踏まえた専門性の高い図書館職員専門研修の実施（２回）及び高等学校図書館、大学図書館への参加の呼びかけ（県図書館協会）
・学校教育研究会図書館部会等と連携した研修会への協力

③　県内図書館との連携による重層的な図書館サービスの充実

・市町村立図書館(室)の現状や課題の把握、情報共有等を目的とした実務者会議の開催と、巡回訪問の計画的な実施等による人的ネットワークの強化（再掲）
・県内図書館との連携による「山形県図書館大賞 2025」の実施

④　ウェブ会議システム等の活用による新たな連携の推進

・オンライン形式やハイブリッド形式による講座・イベントの開催（再掲）
・図書館職員専門研修のオンライン形式又はハイブリッド形式による実施

⑤　県外図書館等とのネットワークの推進

・北日本図書館連盟大会（６月 18 日、秋田市)、同研究協議会（10 月 3 日、福島市）への参加
・全国公共図書館協議会定期総会、国立国会図書館長との懇談会への参加、日本図書館協会主催全国図書館大会（10 月 30 日・31 日、松山市)、全国公共図書館研究集会への参加

【目標指標】

指　標　名	実　　績 令和６年度(2024 年度)	目　　標 令和７年度(2025 年度)
蔵書回転率（個人貸出数／蔵書冊数）	31.6%	50.0%
パスファインダー数	55 点	50 点
相互貸借に係る県内市町村立図書館(室)における県立図書館の満足度	3.7	4.0
学校図書館への延べ貸出回数（一括・セット）	26 回	30 回
図書館職員研修の参加満足度(５段階評価)	実施した３つの研修 全て４以上	全研修で４以上

3　つながり・ひろがる図書館～デジタル化と連携協働によるサービスの充実～

（1）インターネットを活用した利便性の向上とデジタル化の推進

①　アクティブラーニングルームを活用した情報受発信の強化

・県立図書館を拠点とした集いや学びを県全域へ発信・共有するための、オンライン形式やハイブリッド形式による講座・イベントの開催（再掲）

・県民の生涯学習の成果発表の場としての活用など、外部による利用促進に向けた広報の実施

②　インターネットによる情報発信の更なる強化

・発信した情報に対する閲覧状況等の把握・検証を行い、ホームページやＳＮＳ（X、Instagram 等）の各媒体の特性を活かした積極的かつ効果的な更新・投稿の実施

・ターゲットに応じ、外部サイト（例：やまがた子育て応援サイト）を効果的に活用した広報の実施

・県立図書館で実施する各種講座等のアーカイブ化及び動画配信の実施

③　非来館型サービスの周知広報と利便性向上

・県内各地における「移動図書館」の実施による利用者登録の促進及びインターネット予約貸出サービスの周知強化

・ラッピングブックと合わせた宅配無料キャンペーンによる図書宅配サービスの利用促進（12 月頃）

・WEB 利用者登録申請等 WEB による手続きの推進

④　貴重資料等のデジタル化による長期保存対策と利活用の推進

・「デジタルライブラリー」の活用を促進するための学校への周知・啓発と、貴重資料の更なるデジタル化の検討

・長期保存を行う磁気テープ資料の選定と予算確保のための調整

・マイクロフィルムのデジタル化（一部）【新規】及び今後のデジタル化に向けた資料の選定と予算確保のための調整

⑤　オンラインデータベースの活用の推進

・オンラインデータベース活用講座の開催

⑥　レファレンスデータベースの充実

・国立国会図書館レファレンス協同データベースへの積極的な事例登録及び活用

⑦　電子書籍サービスの検討

・電子書籍サービスの更なる充実（電子書籍の追加購入等）

・電子書籍サービスの体験イベントの開催

・図書館情報システムとの連携によるシステム上での電子書籍検索機能の提供【新規】

・ＰＤＦなど電子データでのみ発行されている刊行物等の収集・保存・利用の仕組みづくり

（２）連携・協働によるサービスの充実

①　県民や団体等との連携・協働によるサービスの充実

・図書館運営協力サポーター制度の実施

・県民の読書推進に向け連携強化を図るための公共図書館と地域の書店との情報共有・意見交換の実施

②　協働による賑わいづくりを推進するネットワークづくり

・多様な主体と連携し、民間など外部の視点によるアイデア等を取り入れるための「賑わいづくり企画・実行委員会」の開催（再掲）

・図書館で活動する団体との意見交換会等の実施

③　次代に引き継ぐ資料の積極的な寄贈受入れ

・郷土資料・行政資料の効果的な収集のため、新聞・雑誌等を活用した情報収集を行い、県内の学校や企業等に対し積極的な提供を依頼（再掲）

④　ふるさと納税制度や雑誌スポンサー制度を活用した図書館機能の充実

・ＳＮＳやホームページ､オンラインイベント等を活用したふるさと納税の働きかけ

・雑誌スポンサー制度の周知広報と継続・拡大の働きかけの実施

⑤　県民のニーズや意見をくみ取る広聴と施設運営

・県民のアイデアや企画、希望等を企画展示やイベント等に反映させるため、来館者に対するアンケート及び WEB によるオンライン方式によるアンケートを実施（６月）

・アンケート結果概要及びフォローアップ状況の公表

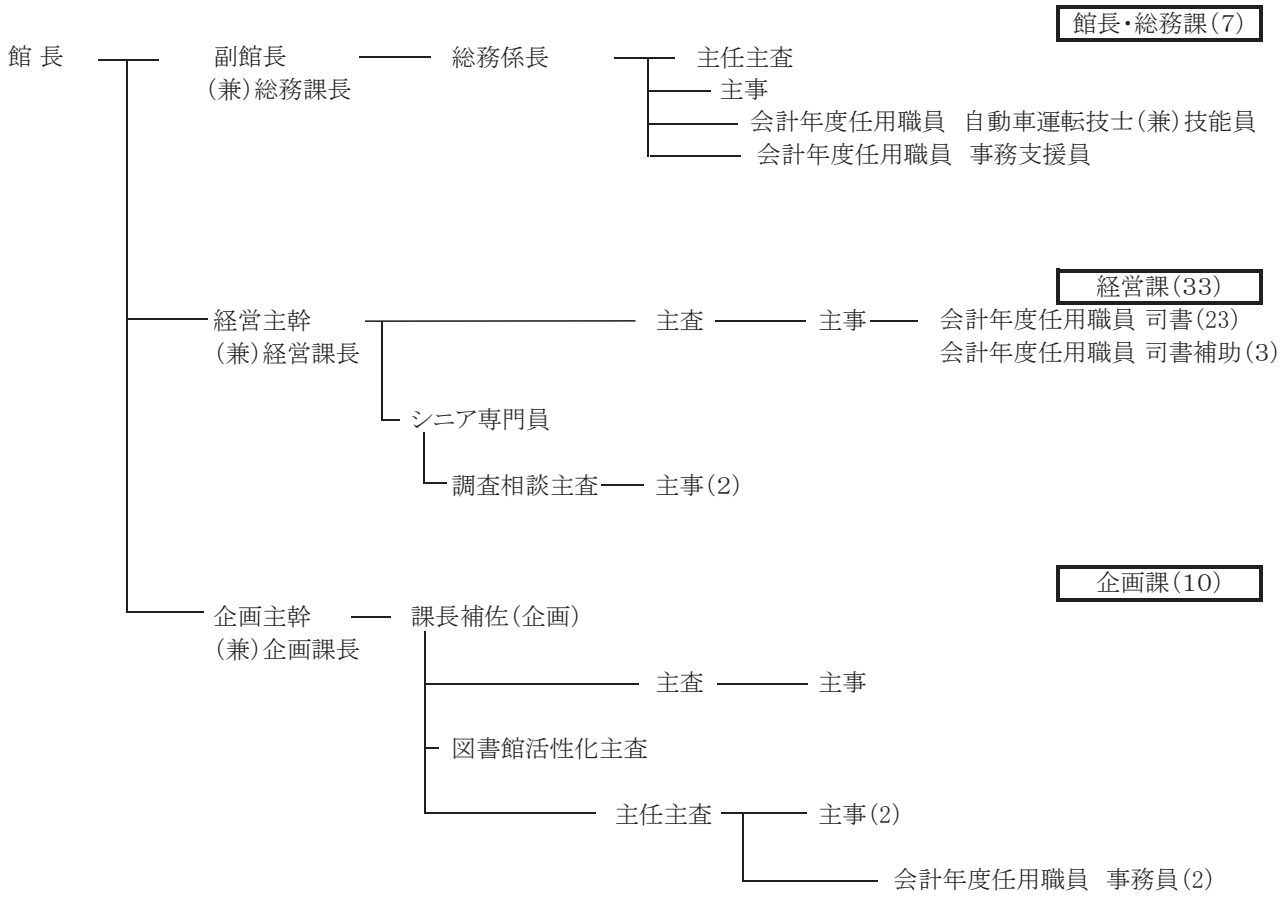
【目標指標】

指　標　名	実　　績 令和６年度(2024 年度)	目　　標 令和７年度(2025 年度)
図書館ホームページの延べ閲覧ページ数 (ページビュー数)	集計不可	設定せず
インターネット予約貸出のうち他館受取冊数	6,554 冊	6,000 冊
図書館サポーターの登録者数（人）	20 人	22 人
利用者アンケートの満足度（施設）	4.3	4.5 以上
利用者アンケートの満足度（スタッフ）	4.4	4.5 以上

3　山形県立図書館の組織

令和7年4月1日現在

(1) 組織



(2) 職員配置

	館　長	副館長	主　幹	課　長	課長補佐 専門員	主　査	係長	主任主査 主査	主任主事 主　事	正職員 計	会計年度 任用職員 (技能員)	会計年度 任用職員 (司書等)	会計年度 任用職員 (事務)	合計
館　長	1									1				1
副館長		1								1				1
主　幹			2							2				2
総務課				(1)			1	1	1	(1) 3	1		1	(1) 5
経営課				(1)	1	1		1	3	(1) 6		*23* 26		(1) *23* 32
企画課				(1)	1	1		2	3	(1) 7			*1* 2	(1)*1* 9
計	1	1	2	(3)	2	2	1	4	7	(3) 20	1	*23* 26	*1* 3	(3) *24* 50

※( )は兼務、斜字は司書・司書補有資格者で内数

４　山形県図書館協議会

（１）図書館協議会

①図書館法第 14 条に基づき、公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

②任務

・図書館の運営に関し館長の諮問に応ずる。

・図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。

（２）山形県図書館協議会

①山形県図書館条例第４条の規定により昭和 27 年に設置

②委員の任命基準

・学校教育・社会教育の関係者

・家庭教育の向上に関する活動を行うもの

・学識経験者

③委員定数

７名

④任期

２年間（現委員の任期：令和７年１月 21 日～令和９年１月 20 日）

⑤委員名簿（令和７年度）

（敬称略、五十音順）

氏　　名	役　　職	備　考
井上　陽子	株式会社アサヒマーケティング 子育て情報誌「マーメイド」編集長	
大沼　太兵衛	山形県立米沢女子短期大学 国語国文学科　准教授	
小関　裕之	株式会社山形新聞社 編集局編集総務兼報道部長	
菅野　美奈子	株式会社瑠々堂　代表取締役 特定非営利活動法人Yamagata1　理事　事務局長 復興ボランティア支援センターやまがた　会計担当	
髙橋　一枝	新庄市立図書館 館長 一般社団法人とらいあ 専務理事	
藤川　かん奈	合同会社Ｏｒｉｏｒｉ　代表 第７次山形県教育振興計画検討委員会委員 山形県社会教育委員	
前田　洋光	山形県学校図書館連絡協議会 副会長 （山形市立第四中学校 校長）	

（役職は就任時時点）

５ 山形県立図書館の予算・決算

（単位：千円）

事業名	令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度当初予算	令和7年度当初予算	令和7年度の主な事業
県立図書館協議会費	71	86	69	56	228	225	・協議会開催経費等
県立図書館運営費 ★	60,973	60,564	56,602	57,237	58,591	58,011	
図書館管理運営費	47,390	47,370	47,947	51,468	52,822	52,242	・光熱水費、消耗品、通信費、大会・研修旅費等
図書館管理運営費（コンピュータ関連）	13,583	13,194	8,655	5,769	5,769	5,769	・図書館情報システムハードウェア等賃借料
図書資料整備事業費	24,489	23,289	22,879	23,385	25,143	26,138	・図書館地区別研修700千円を含む。
図書資料充実費	22,330	21,125	20,687	21,155	19,569	19,869	・一般図書、逐次刊行物等
視聴覚資料整備費	2,138	2,129	2,186	2,151	2,626	2,623	・CD・DVD等
電子書籍サービス	－	－	－	－	2,805	2,805	・電子書籍サービスの提供事業
ふるさと納税活用分	21	35	6	28	32	28	
障がい者サービスの充実	0	0	0	51	111	113	・対面朗読サービス
奉仕活動事業費	1,749	1,963	2,060	1,811	2,061	2,097	・新聞、雑誌製本等
県民が集い・学ぶ県立図書館活動整備事業費	1,393	1,361	5,720	1,429	1,775	1,775	・講座、イベント開催経費等
合　　計	88,675	87,263	87,330	83,918	87,798	88,246	

★ 本庁執行分を除く。

６ 施 設 の 現 状

（１）名　　称　　山形県立図書館（「遊学館」）

（２）構　　造　　鉄骨鉄筋コンクリート造　地下２階・地上４階

（３）面　　積　　敷地面積 9,769.61 ㎡　建築面積 4,819 ㎡
図書館延床面積 7,282 ㎡（遊学館 11,933 ㎡）

階	区分	面積	階	区分	面積
塔屋	機械室	167.4 ㎡	１階	製本室	62.6 ㎡
	その他	57.3 ㎡		ワークルーム	39.8 ㎡
	計	224.7 ㎡		図書選択室	59.1 ㎡
２階	館長室	46.8 ㎡		ロッカー室	23.8 ㎡
	事務室	240.0 ㎡		車庫	64.6 ㎡
	サーバー室	14.2 ㎡		アクティブラーニングルーム	77.7 ㎡
	郷土資料閉架書庫	121.2 ㎡		おはなしのへや	34.5 ㎡
	研究室	28.2 ㎡		赤ちゃん休憩室	15.3 ㎡
	開架室	1,067.2 ㎡		開架室	2,256.5 ㎡
	その他	194.7 ㎡		その他	241.3 ㎡
	計	1,712.3 ㎡		計	2,875.2 ㎡
			地下１階	書庫	87.6 ㎡
				その他	22.6 ㎡
				計	110.2 ㎡
			地下２階	書庫	1,042.9 ㎡
				機械室	1,272.4 ㎡
				その他	44.3 ㎡
				計	2,359.6 ㎡
合計		7,282 ㎡			

≪参考≫　令和２年２月　リニューアルオープン：総工費　約　１１.６　億円
（遊学館全体、工期：平成 30 年７月～令和元年９月）

7 所 蔵 資 料 （令和7年3月末現在）

（1）蔵書、視聴覚資料等

（単位：冊、点）

		令和５年度末蔵書数			令和６年度末蔵書数			増減数		
		図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計
0	総記	26,999	31,100	58,099	27,368	32,070	59,438	369	970	1,339
1	哲学・宗教	31,090	2,745	33,835	31,476	2,804	34,280	386	59	445
2	歴史・地誌	61,130	5,737	66,867	62,028	5,904	67,932	898	167	1,065
3	社会科学	140,193	34,774	174,967	142,231	35,705	177,936	2,038	931	2,969
4	自然科学	44,539	9,400	53,939	45,212	9,598	54,810	673	198	871
5	技術・工学	52,632	14,954	67,586	53,296	15,437	68,733	664	483	1,147
6	産業	42,991	11,835	54,826	43,420	12,112	55,532	429	277	706
7	芸術	45,131	15,792	60,923	45,802	16,183	61,985	671	391	1,062
8	言語	13,991	953	14,944	14,106	970	15,076	115	17	132
9	文学	116,172	17,267	133,439	117,445	17,571	135,016	1,273	304	1,577
小計		574,868	144,557	719,425	582,384	148,354	730,738	7,516	3,797	11,313
K	郷土資料	127,638	19,890	147,528	129,338	19,680	149,018	1,700	−210	1,490
Z	児童	45,397	0	45,397	46,725	0	46,725	1,328	0	1,328
P	紙芝居	1,135	0	1,135	1,151	0	1,151	16	0	16
F	洋図書	4,809	0	4,809	4,824	0	4,824	15	0	15
蔵書冊数		**753,847**	**164,447**	**918,294**	**764,422**	**168,034**	**932,456**	**10,575**	**3,587**	**14,162**
電子書籍（冊）				**0**			**368**			**368**

※増加数は登録数から除籍数を引いた数　　※0～9門の逐次刊行物には児童雑誌も含む

DVD（ビデオディスク）	3,488	3,541	53
デイジー	129	139	10
CD	3,753	3,788	35
ビデオテープ	4,420	4,426	6
カセットテープ	650	650	0
視聴覚他	54	63	9
視聴覚資料（点）	**12,494**	**12,607**	**113**

新聞合本（冊）	**9,034**	**9,161**	**127**
マイクロフィルム（点）	**7,424**	**7,424**	**0**

資料数合計	**947,246**	**962,016**	**14,770**

（2） データベース（オンライン資料）

データベース名	データベースの概要	検索・閲覧対象期間
山形新聞記事データベース	山形新聞に掲載された県内の記事の本文を検索・閲覧可能。	1999年12月～
朝日新聞クロスサーチ	朝日新聞東京本社発行の最終版の記事、沖縄以外の各都道府県の地方版記事の本文・縮小版を検索・閲覧可能。2005年11月からの記事は切り抜き・紙面イメージも見ることが可能。 「AERA」(創刊号～)、「週刊朝日」のニュース面2000年4月～)の記事も検索・閲覧可能。	1945年～ 地方版のうち山形版は1997年1月～ 庄内版は2010年2月～
日経テレコン21 (日経記事等データベース)	日本経済新聞(地方経済面含む1981年～)、日経産業新聞、日経流通新聞MJ及び日経金融新聞の記事の本文を検索・閲覧可能。 そのほかに日経速報ニュース、企業情報・企業決算、人事情報・人事記事、英字記事、マーケット概況・マクロ経済統計・地域経済統計等も検索・閲覧可能。	日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞は1981年～ 日経金融新聞は1987年10月～
D1－Law.com (第一法規法情報総合データベース)	憲法、条約、法律、政令、勅令、府令・省令、規則、告示までの3万1千件余の法令、約22万件の判例本文とこれらを理解するための要旨・解説情報、幅広い収録対象誌から収集した約64万5千件の文献情報等の法情報を検索・閲覧可能。 全文検索機能に加え、独自のキーワードによる検索、複雑な掛け合わせが可能なパネル検索等、多彩な検索機能を備える。 重要判例検索サービスである『Vpass』によって判例解釈の確認も可能。	旧憲法下～現在
官報情報検索・閲覧サービス	官報(本紙、号外、政府調達公告版、資料版、目録)を検索・閲覧可能。	1947年5月3日日本国憲法施行日～当日発行分
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な約232万点の資料（令和7年6月時点)が検索・閲覧可能。	昭和43年までに受け入れた図書 約56万点・明治期以降の貴重書等 約2万点・明治期以降に発行された雑誌(商業出版されていないもの) 約1万タイトル（約82万点）・平成2～12年度に送付を受けた論文（商業出版されていないもの）約13万点・昭和55年以前の放送脚本の一部約3千点
国立国会図書館歴史的音源配信提供サービス	歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)がデジタル化した資料のうち、インターネット公開されておらず、絶版等の理由で入手困難な約5万点の音源を検索・視聴可能。	1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された5万点の音源
ルーラル電子図書館	農業系に特化したデータベース。一般社団法人農山漁村文化協会出版の図書（「農業技術大系」等)、雑誌（「現代農業」等）を検索・閲覧可能。また、農作業の技術などを収録した動画も閲覧可能。	各収録作品により異なる。

※著作権等の理由から検索・閲覧できない記事有。

８　レファレンス協同データベース（国会図書館）

国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベース

≪URL:https://crd.ndl.go.jp/reference/≫

・当館で登録したレファレンス事例件数　　５２０件（２０２５年３月末現在）

【登録例】

管理番号	質　　問
山形県-2024-0003	山形県の真室川音頭について、Wikipediaに下記の表記かあった。「現在知られている歌詞は、1952年(昭和27年)に真室川町が歌詞を広く募集し、それを織り込んだものである。これは、「正調真室川音頭」と呼ばれ、レコード録音された。戦前(昭和８年頃)に歌われていた主流の歌詞を知りたい。
山形県-2024-0006	山形のひなまつりの歴史が分かる本が読みたい。地域は特定しない。
山形県-2024-0007	二口堰について歴史や沿革が分かるものはあるか(取水をやめた時期など)。
山形県-2024-0008	大久保遊水地計画が出た当時の農民の意見・声が書かれている新聞や地元のフリーペーパーなどはあるか。
山形県-2024-0009	新井白石の著書と言われる「山形紀行」の所在について。
山形県-2024-0010	歌人斎藤茂吉が山形県の大石田町で暮らした頃の詳しい資料はあるか。
山形県-2024-0011	雪が降る前兆に鳴る雷の呼び名を調べています。「雪起こし」と言う地域もあるようですが、山形県内では何と呼んでいるのでしょうか。方言辞典や郷土資料などに記されているものがありましたら教えてください。またその呼び名がいつごろから言われているのかも分りましたら併せて教えてください。
山形県-2024-0011	西川町大井沢地区に存在する町指定天然記念物「ハゴロモミズナラ」について、詳しい所在地のわかる資料を探しています。地図のほか、場所や道順が記述されている資料などても結構です。
山形県-2024-0013	新庄市にある円満寺には、新庄九代藩主の戸沢政胤(まさつぐ)公の時代に宥勝(ゆうしょう)という住職がいた。その人物についての資料はあるか。
山形県-2024-0014	山形県内で秋に開催される芋煮会で締めにカレールウを投入し、カレーうどんを食べるという文化があると知りました。これについて、可能な限りいつ、どこでどのように発祥しそれが定番となっていったかを知るための役立つ情報を提供してほしい。
山形県-2024-0018	「しばらくぶりで」という意味の方言「よっぱりが・よっぱるが」の使われている地域及び語源が知りたい。
山形県-2024-0021	山形　西光寺に所蔵されます、尊海筆の阿弥陀如来図について、紹介される文献を知りたい。(展覧会図録・著作・雑誌含む)

９　パスファインダー

調べたいテーマに関連する資料・情報の探し方や入手方法などを紹介するため、平成２３年度から「パスファインダー」の作成に取り組んできている。

郷土関係の項目を中心として様々なテーマについてパスファインダーを作成し、館内に配置するとともに、ホームページで公開している。

No.	テ　ー　マ
１	郷土の人物について調べる
２	山形県の郷土料理について調べる
３	立石寺（山寺）について調べる
４	最上川について調べる
５	山形県の神社・寺院について調べる
６	単位について調べる
７	紅花について調べる
８	出羽三山の修験道について調べる
９	最上義光について調べる
１０	山形の地震について調べる
１１	山形県の地図(種類・発行年)の所蔵状況について調べる
１２	節電について調べる
１３	山形の方言について調べる
１４	山形の温泉について調べる
１５	山形の伝統工芸について調べる
１６	初市・植木市について調べる
１７	芭蕉がたどった山形路について調べる
１８	啓翁桜について調べる
１９	山形の伝統芸能について調べる
２０	山形の民話・昔話について調べる
２１	山形の祭りについて調べる
２２	サクランボについて調べる
２３	山形の鉄道について調べる
２４	樹氷について調べる
２５	山形のそばについて調べる
２６	山形の山菜・きのこについて調べる
２７	山形のお酒について調べる
２８	医療情報について調べる

２９	企業情報について調べる
３０	自由研究・自由工作について調べる
３１	山形のお城について調べる
３２	認知症（介護と予防）について調べる
３３	花笠まつりと花笠踊りについて調べる
３４	芋煮会について調べる
３５	山形の漬物について調べる
３６	山形の伝統（伝承）野菜について調べる
３７	たばこと健康について調べる
３８	天童の将棋駒について調べる
３９	新庄まつりについて調べる
４０	発達障がいについて調べる
４１	山形の（歴史）街道について調べる
４２	山形の山について調べる
４３	山形の地名について調べる
４４	山形のお米について調べる
４５	感染症を調べる
４６	文翔館（山形県旧県庁舎）について調べる
４７	ＬＧＢＴＱについて調べる
４８	防災について調べる
４９	こどもの防犯について調べる
５０	山形五堰について調べる
５１	俳句・短歌について調べる
５２	山形市南大火・市北大火について調べる
児童１	目指せ！図書館マスター！
児童２	昔の道具の本を探そう！
児童３	山形の文化・歴史の本を探そう！

10　セット資料貸出

令和２年２月のリニューアルオープンを機に、県内の児童・生徒の読書活動を支援する「セット資料貸出」を開始。令和３年度に２テーマ追加し、４０テーマとなった。主に市町村図書館（室)、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を対象に貸出。

セットテーマ一覧

	テーマ名	テーマ内容	対象	セット内冊数	セット数
1	修学旅行（京都・奈良）	京都・奈良の遺産・社寺・歴史を学ぶ本	高校生	30	2
2	戦争と平和（小中学生）	戦争をテーマにした本、絵本	小～中学生	30	1
3	戦争と平和（高校生）	戦争をテーマにした本、絵本、写真集	高校生	30	1
4	仕事について学ぶ（小中学生）	仕事、職業について学ぶ本	小～中学生	24	2
5	調べ学習	調べ学習や総合的な学習に関する本	小～中学生	25	2
6	防災	災害や防災を学ぶ本	小～中学生	30	2
7	バリアフリーを学ぶ	バリアフリー、点字、手話の本	小～中学生	28	1
8	自由研究・工作	自由研究・工作に役立つ本	小～中学生	32	2
9	生活習慣病（小中学生）	生活習慣病・薬物・喫煙について学ぶ本	小～中学生	25	2
10	生活習慣病（高校生）	生活習慣病・薬物・喫煙について学ぶ本	高校生	22	2
11	環境（小中学生）	環境問題について学ぶ本	小～中学生	29	2
12	環境（高校生）	環境問題について学ぶ本	高校生	29	1
13	SDGs（環境分野）	SDGs の取り組みについて考える本	高校生	25	1
14	SDGs（社会分野）	SDGs の取り組みについて考える本	高校生	24	1
15	SDGs（経済分野・ガバナンス）	SDGs の取り組みについて考える本	高校生	20	1
16	情報モラル	ネットや SNS の使い方を学ぶ本	小～中学生	26	1
17	お米について	米や米作りについて学ぶ本	小～中学生	26	1
18	世界遺産・文化財	世界遺産・文化財・文化遺産の本	小～中学生	28	1
19	日本の伝統芸能	歌舞伎・能などの伝統芸能を学ぶ本	小～中学生	28	1
20	スポーツ	運動・スポーツの実技に関する本	小～中学生	29	1
21	英語に親しむ	英語の本、図鑑	小学生	29	1
22	古典に親しむ	やさしい古典の本	小～中学生	35	1
23	源氏物語を読む	源氏物語の原文・現代語訳・評釈の本	高校生～一般	30	1
24	日本の昔話絵本	日本の昔話の絵本	小学生～一般	24	1
25	世界の昔話	世界各国の昔話の本・絵本	一般	24	1
26	よみきかせ絵本（１）	よみきかせ用絵本	一般	16	1
27	よみきかせ絵本（２）	よみきかせ用絵本	一般	16	1
28	よみきかせ絵本（幼児）	よみきかせ用絵本	一般	13	1
29	よみきかせ絵本（小学校低学年）	よみきかせ用絵本	一般	20	1
30	よみきかせ絵本（小学校高学年）	よみきかせ用絵本	一般	19	1
31	山形県出身作家の絵本（１）	山形県出身作家の絵本	小学生～一般	15	1
32	山形県出身作家の絵本（２）	山形県出身作家の絵本	小学生～一般	14	1
33	浜田広介の本	浜田広介の本	小学生～一般	22	1
34	宮沢賢治の絵本	宮沢賢治の絵本	小学生～一般	32	1
35	椋鳩十の本	椋鳩十の本	小学生～一般	12	1
36	県人作家の小説	山形県出身や在住作家の小説	一般	32	1
37	日本文学アルバム	日本文学作家の伝記	一般	40	1
38	台湾	台湾の料理、観光地などのガイドブック	一般	20	2
39	仕事について学ぶ（高校生）	仕事、資格について学ぶ本	高校生	37	1
40	名言集	生きる支えとなる言葉の本	高校生	34	1

11　絵本の本棚

平成２０年度、山形県子ども読書活動推進計画にもとづく取組みの一つとして、子どもたちに読み聞かせをしている方々に向けて、絵本選びの参考として活用していただくために、テーマ別の絵本リスト「絵本の本棚」の作成を開始した。

対象者は幼児から小学生を目安として、当館の児童向け展示のテーマに合わせてリストを作成している。こどもエリアに配置するとともに、ホームページで公開している。

No.	テ ー マ	No.	テ ー マ
１	かがくえほん	１７	はるの絵本
２	大型絵本	１８	雨の絵本
３	乗り物の本	１９	マツリとカミサマ
４	こわい絵本	２０	山の絵本
５	おいしい絵本	２１	海の絵本
６	クリスマス	２２	妖怪の絵本
７	むかしばなしの絵本	２３	星と月
８	おとうさん、おかあさん	２４	かみしばい　春夏秋冬
９	あいさつ	２５	からだのふしぎ
１０	おじいちゃん、おばあちゃん	２６	おやすみなさいの絵本
１１	赤ちゃん絵本	２７	ことばのリズムを楽しむ絵本
１２	きょうだい	２８	虫・ムシ・むしの本
１３	ともだち	２９	おたんじょうび おめでとう
１４	なつの絵本	３０	ふしぎなおはなし
１５	あきの絵本	３１	おてがみの絵本
１６	ふゆの絵本		

12　ティーンズコーナー・GATE★BOOK（ゲートブック）

平成２２年度こどもの読書週間企画展において１０代の若者を対象にした「ヤングアダルトおすすめ本」を展示紹介したが、終了後も引き続き通年展示とし、図書館職員からのおすすめ本等を掲載したリストを作成し配置していた。

平成２４年１月からは、展示コーナーの名称を「ティーンズコーナー」に変更し、ヤングアダルト向けの新着本を紹介するリスト「GATE★BOOK」を作成し設置している。「GATE★BOOK」は、高校図書委員が薦める本を紹介したり、イベント・展示を紹介したりするなど様々な工夫をしながら発行している。

13 利用の状況

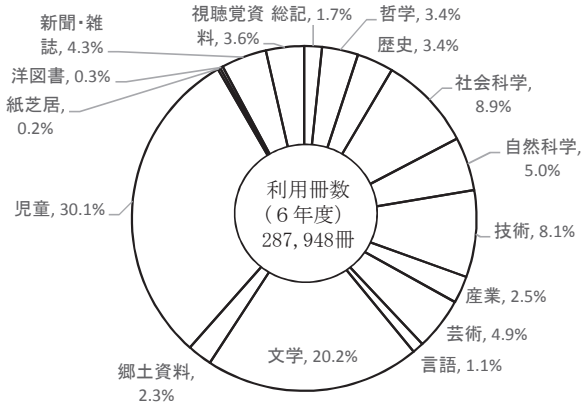
(1) 図書館利用概況

① 入館者数・登録者数・個人貸出冊数・電子書籍閲覧数

区分	開館日数	入館者数(人)		登録者数(人)		個人貸出冊数（冊）		電子書籍閲覧数（回）	
	（日）	総　数	1日平均	新　規	累　計	総　数	1日平均	総　数	1日平均
2年度	274	177,058	646	4,202	117,256	290,773	1,061	0	0
3年度	313	212,545	679	3,264	120,520	334,291	1,068	0	0
4年度	308	237,510	771	3,393	123,913	325,336	1,056	0	0
5年度	314	261,980	834	3,141	127,054	301,100	959	0	0
6年度	312	270,210	866	3,173	130,227	287,948	923	6,988	53

※電子書籍はR6.11月から提供開始

② 分類別利用状況（個人貸出冊数）



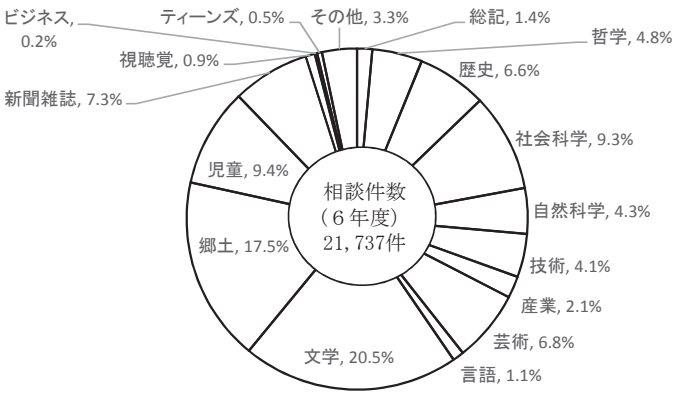
③ 相互貸借冊数

区分	相互貸借冊数（冊）	
	貸出	借受
2年度	6,701	759
3年度	4,382	820
4年度	3,624	841
5年度	3,738	736
6年度	4,209	831

④ 調査相談件数

区分	調査相談(件)		
	郷土資料	一般資料	計
2年度	1,789	2,177	3,966
3年度	3,250	20,269	23,519
4年度	3,575	20,040	23,615
5年度	4,152	19,695	23,847
6年度	3,801	17,936	21,737

※令和3年度以降調査相談件数には所蔵レシート出納件数を含む。



（2） 図書資料利用状況の推移

（単位:冊、%）

		2年度			3年度			4年度			5年度			6年度		
		冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比	冊数	構成比	前年比
0	総記	5,384	1.85	197.4	6,030	1.80	112.0	5,667	1.74	94.0	5,388	1.79	95.1	4,810	1.67	89.3
1	哲学･宗教	9,162	3.15	190.0	10,302	3.08	112.4	9,933	3.05	96.4	9,244	3.07	93.1	9,741	3.38	105.4
2	歴史･地誌	9,476	3.26	161.0	10,238	3.06	108.0	10,515	3.23	102.7	10,844	3.60	103.1	9,899	3.44	91.3
3	社会科学	26,600	9.15	262.5	28,520	8.53	107.2	27,764	8.53	97.3	25,737	8.55	92.7	25,495	8.85	99.1
4	自然科学	15,395	5.29	220.2	17,530	5.24	113.9	17,585	5.41	100.3	17,257	5.73	98.1	14,461	5.02	83.8
5	技術･工学	27,327	9.40	243.6	29,207	8.74	106.9	28,285	8.69	96.8	25,471	8.46	90.1	23,448	8.14	92.1
6	産業	9,814	3.38	222.6	10,076	3.01	102.7	9,868	3.03	97.9	8,254	2.74	83.6	7,334	2.55	88.9
7	芸術	14,627	5.03	227.6	17,208	5.15	117.6	17,529	5.39	101.9	15,967	5.30	91.1	14,218	4.94	89.0
8	言語	2,713	0.93	177.6	3,471	1.04	127.9	3,247	1.00	93.5	3,396	1.13	104.6	3,028	1.05	89.2
9	文学	55,542	19.10	227.5	62,486	18.69	112.5	61,096	18.78	97.8	60,023	19.93	98.2	58,099	20.18	96.8
小計		176,040	60.54	224.1	195,068	58.35	110.8	191,489	58.86	98.2	181,581	60.31	94.8	170,533	59.22	93.9
K	郷土資料	6,701	2.30	120.6	8,294	2.48	123.8	8,426	2.59	101.6	7,159	2.38	85.0	6,620	2.30	92.5
Z	児童	83,192	28.61	306.1	101,191	30.27	121.6	98,485	30.27	97.3	87,899	29.19	89.3	86,759	30.13	98.7
P	紙芝居	770	0.26	239.1	970	0.29	126.0	894	0.27	92.2	750	0.25	83.9	674	0.23	89.9
F	洋図書	1,046	0.36	262.8	1,093	0.33	104.5	917	0.28	83.9	672	0.22	73.3	778	0.27	115.8
新聞・雑誌		10,953	3.77	211.7	13,138	3.93	119.9	12,527	3.85	95.3	11,882	3.95	94.9	12,292	4.27	103.5
視聴覚資料		12,071	4.15	167.1	14,537	4.35	120.4	12,598	3.87	86.7	11,156	3.71	88.6	10,292	3.57	92.3
その他		0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	1	0.00	0.0	0	0.00	0.0
小計		114,733	39.46	250.2	139,223	41.65	121.3	133,847	41.14	96.1	119,519	39.69	89.3	117,415	40.78	98.2
貸出冊数計		290,773	100.00	233.7	334,291	100.00	115.0	325,336	100.00	97.3	301,100	100.00	92.6	287,948	100.00	95.6

（3） 図書資料貸出利用の年齢構成

区 分	利 用 者 数 （人）					貸 出 資 料 数 （冊）				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
2年度	16,520	34,988	22,882	3,002	77,392	65,856	135,122	74,322	15,473	290,773
構成比	21.35	45.21	29.57	3.88	100.00	22.65	46.47	25.56	5.32	100.00
3年度	18,812	42,385	26,851	2,851	90,899	75,796	160,320	84,173	14,002	334,291
構成比	20.70	46.63	29.54	3.14	100.00	22.67	47.96	25.18	4.19	100.00
4年度	15,765	40,762	28,245	3,750	88,522	63,554	155,493	88,698	17,591	325,336
構成比	17.81	46.05	31.91	4.24	100.00	19.53	47.79	27.26	5.41	100.00
5年度	14,237	38,505	28,891	3,287	84,920	57,271	142,078	87,244	14,507	301,100
構成比	16.77	45.34	34.02	3.87	100.00	19.02	47.19	28.97	4.82	100.00
6年度	13,871	39,285	28,955	2,675	84,786	55,323	137,742	85,265	9,618	287,948
構成比	16.36	46.33	34.15	3.16	100.00	19.21	47.84	29.61	3.34	100.00

（4） 図書資料予約受付数

区 分	予約受付冊数		
		うちインターネット予約	構成比
2年度	23,608	19,155	81.1%
3年度	26,258	21,276	81.0%
4年度	25,559	20,164	78.9%
5年度	26,120	20,764	79.5%
6年度	28,405	23,388	82.3%

（5） 県立図書館から市町村立図書館（室）への貸出数推移
（相互貸借及び一括特別貸出）

（単位：冊、％）

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比	冊数	構成比
山形市	203	2.28	224	3.10	127	2.02	203	3.27	171	2.43
寒河江市	68	0.76	85	1.18	94	1.49	70	1.13	79	1.12
上山市	64	0.72	58	0.80	67	1.06	108	1.74	84	1.19
村山市	43	0.48	62	0.86	58	0.92	33	0.53	19	0.27
天童市	51	0.57	97	1.34	79	1.26	74	1.19	55	0.78
東根市	66	0.74	74	1.03	46	0.73	48	0.77	48	0.68
尾花沢市	24	0.27	27	0.37	31	0.49	40	0.64	42	0.60
山辺町	216	2.42	316	4.38	296	4.70	490	7.88	785	11.16
中山町	20	0.22	8	0.11	13	0.21	28	0.45	33	0.47
河北町	47	0.53	51	0.71	41	0.65	53	0.85	53	0.75
西川町	50	0.56	51	0.71	26	0.41	6	0.10	17	0.24
朝日町	49	0.55	36	0.50	24	0.38	28	0.45	22	0.31
大江町	84	0.94	103	1.43	58	0.92	66	1.06	94	1.34
大石田町	80	0.90	158	2.19	84	1.34	141	2.27	138	1.96
村山地域計	1,065	11.95	1,350	18.70	1,044	16.59	1,388	22.33	1,640	23.31
新庄市	94	1.05	106	1.47	109	1.73	78	1.25	65	0.92
金山町	14	0.16	1	0.01	4	0.06	2	0.03	1	0.01
最上町	3,348	37.57	279	3.87	195	3.10	314	5.05	430	6.11
舟形町	38	0.43	22	0.30	20	0.32	12	0.19	1	0.01
真室川町	44	0.49	98	1.36	51	0.81	66	1.06	67	0.95
大蔵村	0	0.00	2	0.03	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鮭川村	1	0.01	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
戸沢村	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
最上地域計	3,539	39.71	508	7.04	379	6.02	472	7.59	564	8.02
米沢市	126	1.55	149	1.83	153	2.43	161	2.59	152	2.16
長井市	87	1.07	128	1.57	57	0.91	81	1.30	150	2.13
南陽市	31	0.38	30	0.37	30	0.48	39	0.63	40	0.57
高畠町	26	0.32	28	0.34	17	0.27	28	0.45	29	0.41
川西町	26	0.32	12	0.15	6	0.10	13	0.21	1	0.01
小国町	105	1.29	183	2.25	223	3.54	146	2.35	151	2.15
白鷹町	213	2.61	281	3.45	308	4.90	212	3.41	178	2.53
飯豊町	220	2.70	195	2.39	130	2.07	80	1.29	78	1.11
置賜地域計	834	10.23	1,006	12.34	924	14.69	760	12.23	779	11.07
鶴岡市	252	2.83	297	4.11	247	3.93	162	2.61	164	2.33
酒田市	191	2.14	145	2.01	145	2.30	246	3.96	177	2.52
庄内町	78	0.88	140	1.94	146	2.32	41	2.61	196	2.79
三川町	115	1.29	172	2.38	106	1.68	102	1.64	97	1.38
遊佐町	62	0.70	52	0.72	66	1.05	35	0.56	48	0.68
庄内地域計	698	7.83	806	11.17	710	11.28	586	9.43	682	9.69
県内計	6,136	68.86	3,670	50.85	3,059	48.62	3,206	51.58	3,665	52.09
その他	2,210	24.80	2,878	39.87	2,692	42.78	2,512	40.41	2,840	40.36
県外	565	6.34	670	9.28	541	8.60	498	8.01	531	7.55
合　計	8,911	100.00	7,218	100.00	6,292	100.00	6,216	100.00	7,036	100.00

(6) 調査相談件数の内訳

① 部門別件数

（単位:件）

区分	K 郷土	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	ビジネス	ティーンズ	Z 児童	S 新・雑	V 視聴覚	その他	計
2年度	1,789	53	100	217	138	232	94	54	88	57	208	—	—	256	27	589	64	3,966
3年度	3,250	373	1,132	1,494	2,503	1,044	1,054	787	2,024	269	4,947	14	—	2,389	1,095	174	970	23,519
4年度	3,575	374	1,118	1,539	2,255	2,052	1,127	724	1,723	320	4,433	44	—	2,387	1,172	162	610	23,615
5年度	4,152	372	1,034	1,404	2,078	2,604	1,049	618	1,572	319	4,308	75	—	2,020	1,209	162	871	23,847
6年度	3,801	307	1,037	1,434	2,019	941	893	448	1,476	237	4,455	48	100	2,034	1,594	193	720	21,737

※令和3年度部門別件数には所蔵レシート出納件数を含む。

② 調査内容別件数

（単位:件）

区分	所蔵	書誌	事実	文献	複写	案内	計
2年度	18,417	174	174	420	551	1,399	21,135
3年度	21,458	22	223	351	240	1,225	23,519
4年度	21,817	10	204	278	361	945	23,615
5年度	22,093	48	140	388	157	1,021	23,847
6年度	19,966	78	99	439	252	903	21,737

※令和2年度以降 調査内容別件数の所蔵には所蔵レシート出納件数を含む。

14　令和６年度の主な取組み

「山形県立図書館運営基本プラン 2025」において基本理念とする『県民一人ひとりの生涯学習の基盤となり、知の集積と循環によって、新たな知恵や活力を生み出し、県民の成長と地域の賑わいに貢献する図書館』を目指し、「ときめく」、「たよれる」、「つながり・ひろがる」の３つの行動指針に沿った取組みを実施した。

１　ときめく図書館

（１）本との出会いを演出し、賑わいの拠点となる空間づくり

①　図書館機能を活用し、多様な主体と連携して実施する賑わいの創出

○年間を通した賑わいを創出するため、季節ごとに図書館フェスタを開催

サマーフェスタ（7/13～8/11　10 イベント）

・JICA 東北連携「東アフリカの文化にふれよう！」(8/4)など

オータムフェスタ（10/5～10/27　9 イベント）

・NPO 法人 Yamagata1 連携「氷河期埋没林映画上映」(10/5)

・山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局連携「子どもの映画工房」（10/27）など

ウィンターフェスタ(12/7～12/22　9 イベント)

・山形ママコミュニティ mama*jam 連携「初めての編集＆ライティング術」（12/7）

・東北芸術工科大学連携「雪ってどう描くの？水彩絵の具ワークショップ」（12/14）など

スプリングフェスタ（3/2～3/23　10 イベント）

・東北文教大学連携「動物たちがやってくる！人形劇を楽しもうの会」（3/9）など

○各イベントの実施に合わせ関係図書を展示する企画展示を実施

○テーマ性やストーリー性のある企画展示を実施

・「図書館職員の本棚～転入職員編～」

・県村山総務課連携支援室連携展示「鉄道利用や沿線の魅力を再発見“鉄道でＧＯ！”」

・「戦争と平和」など

○近隣高校による各種講座や図書館コンサートを開催

・山形西高校連携「絵本とうたの会」(4/28)

・東桜学館高校及び山形大学かるた部連携「百人一首かるたに触れてみよう」(3/22 スプリングフェスタ)

・山形西高校及び上山明新館高校連携「春の箏曲演奏会」(3/23 スプリングフェスタ)

○「やまがた文化の回廊フェスティバル 2025」への参加（3/15～23）

②　知的探究心を刺激し、来館のきっかけとなる企画の実施

○ＮＰＯ法人ガリレオ工房（3/2）、山形大学理学部（11/9・3/2）との連携による理科読講座

・「Let’s 理科読　音の不思議」(11/9)

・「Let’s 理科読　空気はちからもち」(同上)

・「Let’s 理科読　水とはなんだろう」(3/2 スプリングフェスタ)

○怪談作家黒木あるじ氏講演会「山形のあやかしとものがたり」（8/11 サマーフェスタ）
○オンライン形式によるイベントの開催
・赤十字血液センター連携　本の森講座「図書館で学ぼう！いのちを救う『けんけつ』」楽しく学ぶ　けんけつセミナーにおいて、県赤十字血液センターのオンライン見学を実施（1/11）
○各イベントの実施に合わせ関係図書を展示する企画展示を実施

③　リニューアルした図書館の魅力を伝える企画展示やイベント等の継続的な開催

○エントランスホールにおけるコンサート・読み聞かせ（4/28、5/5、12/22、3/23）や企画展示の実施
○ラジオモンスター「ママクラブ」での情報発信を４・７・12 月に実施

④　遊学館内の施設や近接する施設との連携による生涯学習の拠点機能の充実

○生涯学習センター「山形小説家・ライター講座」講師の著作等展示（月替わり）
○生涯学習センター「山形学」遊学館ブックス紹介展示（通年）
○県男女共同参画センター主催「チェリアフェスティバル山形 2024」と連携した企画展示の実施（10/26～11/16）
○文翔館・遊学館・洗心庵・教育資料館と合同企画「歴史文化ゾーンを巡る 2024 洗練された明治の山形を尋ねる」と連携した講演会及び企画展を実施（11/3～24）
○「IL BLU 遊学館」との連携による、企画展示に合わせた特別メニューの提供

⑤　縣人文庫の展示の充実

○常設展示について、展示物の入れ替えを実施
○縣人文庫のうち周年を迎えた１名の関連本を展示
○常設展 22 人以外で、時宜に合わせて活躍した県人の企画展示「井上ひさし生誕九十年展」（6/18～7/22）

⑥　県立図書館職員の専門性と接遇力の向上

○図書館職員専門研修
・危機管理編（8/19）講師　福島県白河市立図書館
館長　中沢　孝之　氏
・著作権編（10/21）講師　骨董通り法律事務所 for the Arts
代表パートナー　弁護士　ニューヨーク州弁護士　福井　健策　氏
・レファレンス協同データベースの利活用編（11/18）講師　国立国会図書館
関西館　図書館協力課　協力ネットワーク係　佐々木　良太　氏
○館内研修
・接遇に係る職員研修（2/17）講師　人材育成アカデミーローズレーン
代表　黒田　三佳　氏

（２）乳幼児から高齢者まで生涯にわたり利用できる図書館づくり

①　乳幼児期からの利用促進と読育の推進

○こどもエリアでは２か月ごとに季節や時世に合わせた展示を実施

○山形紙芝居研究会による「紙芝居のひろば」(12 回)、東北文教大学学生による「おはなし会」(10 回) を開催
○山形西高校合唱団「絵本とうたの会」を開催（4/28）
○国際交流員によるおはなし会「外国の絵本を開いてみよう」を開催（４回）
○村山教育事務所等と連携した読育関連イベント「見て聞いてさわって！いっしょにさがそう！絵本ハンターシーズンⅢ」を開催（11/24）
○絵本作り講座「あるほなつきと絵本をつくろう！」を開催（8/3）

②　児童・生徒の利用促進

○ティーンズコーナーにおけるお薦め本・新着の紹介展示（通年）
○県内の高等学校 12 校の図書委員と連携し、図書委員のお薦め本と各自が作成した紹介ＰＯＰの展示コーナーを設置。(企画展示コーナー)
○夏休み期間中に自由研究・工作、読書感想文関連の展示を実施
○広報誌「GATE☆BOOK」を発行しお薦め本を紹介（9・12 月）

③　ビジネス及びリカレント等の支援

○ミニ展示を四半期ごとに実施
○産業創造振興課連携展示「『起業』って何?～自分の夢を実現するための選択肢～」
○職業能力開発専門校連携展示「２年で、なりたい自分になる。～Dreams come true～」

④　県民の読書活動の推進

○大人絵本セラピー山形と共催で「やまがた絵本マラソン」を開催（1/18）
○秋の読書週間に合わせた「県内出版物展」を開催（10/22～12/14）

⑤　ユニバーサルデザインの視点に立ち、快適かつ安全安心に利用できるサービスの推進

○遊学館避難訓練（火災発生想定 7/25、地震発生想定 3/5）への参加
○サピエ図書館への継続加盟
○対面朗読サービスの継続実施

２　たよれる図書館

（１）県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する蔵書づくり

①　「山形県に関する資料は県立図書館にある」ことを目指した郷土に関する資料の収集・保存とその効果的な活用

○資料収集方針に基づき、郷土資料を偏りなく収集、県人著作等を積極的に収集
○デジタル化した貴重資料について、図書館ホームページで公開を行い、収集・整備した資料が探究型学習等で活用されるよう、県教育局を通じ県内教育機関へ周知
○パスファインダーの新規項目を追加（３項目追加　計 55 項目）

②　全世代の県民の学びと希望の実現を支援する資料の充実

○資料収集方針に基づき、生涯学習や調査研究に役立つ資料、県の施策展開や社会的ニーズに資する資料など、選定分野に偏りがないよう留意しながら収集

③　身近な課題の解決を支援する資料とレファレンス（調査相談）の充実

○市町村との役割分担を踏まえた、専門性の高い調査相談を実施

○市町村への調査相談事例提供

○2024 年の県内出版物を紹介する山形新聞の特集記事執筆協力

④　安全安心に役立つ資料の収集保存と活用

○災害記録や公共施設整備に関する資料等、防災意識の高揚につながる資料の整備

⑤　県内地方公共団体の政策決定や行政事務に必要な資料・情報の収集と提供

○県の施策展開に資する解説資料・統計資料等の収集、法令通知集の追録の整備

○県の各部局が実施する県政情報発信コーナーでの展示に合わせた図書の展示、県の各部局と連携した館内での企画展示やイベントの実施

（２）県内図書館全体のサービス充実に向けた県立図書館の役割の発揮

①　県立図書館の特性や役割を踏まえた県内図書館への支援の充実

○市町村立図書館（室）への相互貸借による貸出　3,665 点

○市町村立図書館（室）への相互貸借制度利用促進に向けたアンケート調査を実施

○県内公共図書館（室）実務者会議の開催（7/4）

○現状や課題の把握、情報共有等を目的とした巡回訪問（市町村 20 件、学校 2 件）

○学校図書館への一括特別貸出（22 件）、セット貸出（4 件）

②　県内図書館を支える職員等の研修の充実

○第 44 回山形県図書館研究大会の開催（10/28）

○図書館職員専門研修（危機管理編 8/19、著作権編 10/21、レファレンス協同データベース編 11/18）の開催及び高等学校図書館、大学図書館への参加の呼びかけ

③　県内図書館との連携による重層的な図書館サービスの充実

○県内公共図書館との連携による「山形県図書館大賞 2024」を実施し、決定後に大賞作品展を開催

④　ウェブ会議システム等の活用による新たな連携の推進

○図書館職員専門研修（危機管理編 8/19、著作権編 10/21、レファレンス協同データベース編 11/18）の開催をハイブリッド形式で実施

⑤　県外図書館等とのネットワークの推進

○第 75 回北日本図書館大会（6/20～21、青森市）へ参加

○全国公共図書館協議会定期総会（6/28）、国立国会図書館長との懇談会（6/27）へ参加

○第 110 回全国図書館大会長崎大会（11/30～12/1、長崎市）へオンライン参加

３　つながり・ひろがる図書館

（１）インターネットを活用した利便性の向上とデジタル化の推進

①　アクティブラーニングルームを活用した情報受発信の強化

○やまがたビブリオバトル実行委員会が開催する「第１回やまがたビブリオバトル「奥羽「本」線」」のイベント会場として活用

② インターネットによる情報発信の更なる強化

○図書館ホームページ、Facebook、X（旧 Twitter）、Instagram へのイベント・展示情報等の積極的な掲載

③ 非来館型サービスの周知広報と利便性向上

○インターネット予約　23,388 点

○「移動図書館」の実施（11/3 酒田市立図書館、12/2 県立小国高校）

④ 貴重資料のデジタル化による長期保存対策と利活用の推進

○デジタル化した貴重資料について、図書館ホームページで公開を行い、収集・整備した資料が探究型学習等で活用されるよう、県教育局を通じ県内教育機関へ周知

⑤ オンラインデータベースの活用の推進

○農業系オンラインデータベース「ルーラル電子図書館」を活用した農業支援講座「へえ～！ってなる野菜のひみつ話」（7/13）

⑥ レファレンスデータベースの充実

○国立国会図書館「レファレンス共同データベース」を通じた専門性の高い調査相談事例の紹介（当館登録件数：520 件）

⑦ 電子書籍サービスの検討

○電子書籍サービスを開始（11/19）

○電子書籍サービスの操作体験コーナーを設置

（２）連携・協働によるサービスの充実

① 県民や団体等との連携・協働によるサービスの充実

○ボランティア活動の内容を拡充した運営協力サポーター制度を開始（7 月）
新規 13 名を含む 20 名が登録し、活動を実施

○県内書店と図書館の連携について、山形県書店商業組合と情報交換を実施（7/10）

② 協働による賑わいづくりを推進するネットワークづくり

○多様な主体と連携し、民間など外部の視点によるアイデア等を取り入れるための「賑わいづくり企画・実行委員会」を開催（6/22・8/28）

③ 次代に引き継ぐ資料の積極的な寄贈受入れ

○県内企業データや地域資料の収集活動を実施

④ ふるさと納税制度や雑誌スポンサー制度を活用した図書館機能の充実

○Facebook、X（旧 Twitter）、Instagram でふるさと納税の広報を実施

○雑誌スポンサー制度の実施

⑤ 県民のニーズや意見をくみ取る広聴と施設運営

○利用者アンケートを実施し、結果概要とフォローアップ状況についてホームページで公表（実施期間 6/25～7/5　回答 504 人）

怪談作家黒木あるじ氏講演会「山形のあやかしとものの け」



認定 NPO 法人山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局との連携
「こどもの映画工房」



山形ベルの会との連携「ハンドベル　クリスマス・コンサート」



東北文教大学連携「動物たちがやってくる！人形劇を楽しもうの会」



ＮＰＯ法人ガリレオ工房、山形大学理学部連携「Let’s 理科読　水とはなんだろう」



赤十字血液センター連携　本の森講座「図書館で学ぼう！いのちを救う『けんけつ』」
楽しく学ぶ　けんけつセミナー（県赤十字血液センターのオンライン見学）



山形紙芝居研究会による「紙芝居のひろば」



こどもの読書週間企画展関連行事山形西高校合唱団「絵本とうたの会」



JICA 東北との連携イベント

「東アフリカの文化にふれよう！タンザニアとケニア」



「井上ひさし生誕九十年展」



県村山総務課連携支援室連携「鉄道利用や沿線の魅力を再発見“鉄道でＧＯ！”」



「図書館職員の本棚～転入職員編」



15 利 用 の 案 内

開館時間

午前９時から午後８時まで

休館日

第１、３、５月曜日

第３日曜日

年末年始（12 月 29 日～１月３日）

特別整理期間

貸出

●借りる時は、利用カードが必要です。

●図書の貸出は、10 冊まで３週間以内です。

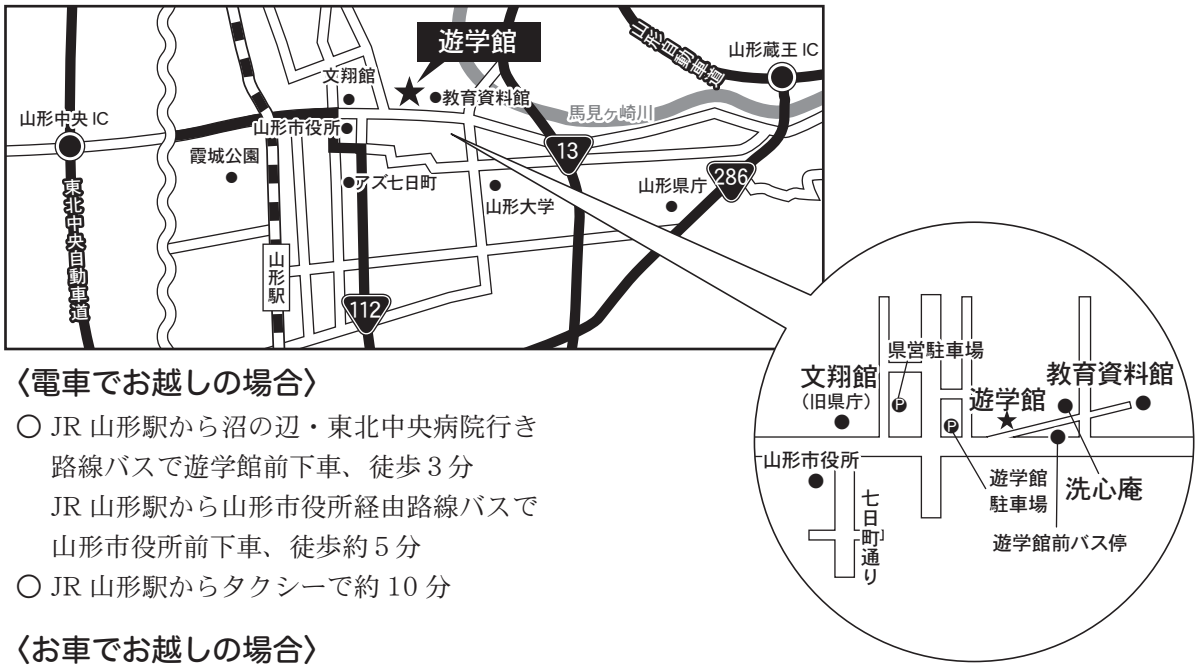
●視聴覚資料（DVD・ビデオ・CD など）の貸出は、３点まで１週間以内です。

●図書・視聴覚資料の合計で 10 点以内となります。

●「参考書」、「禁帯出」のラベル表示のある資料及び貴重資料は、館内のみ御覧ください。

●インターネット予約パスワードをお持ちの方は県立図書館 HP から予約することが出来ます。また、予約された資料は、県内のお近くの図書館（一部の図書館を除く）で受け取ることができます。

アクセス



〈電車でお越しの場合〉

○ JR 山形駅から沼の辺・東北中央病院行き路線バスで遊学館前下車、徒歩３分
JR 山形駅から山形市役所経由路線バスで山形市役所前下車、徒歩約５分

○ JR 山形駅からタクシーで約 10 分

〈お車でお越しの場合〉

○ 山形自動車道山形蔵王 IC から約 10 分

○ 東北中央自動車道山形中央 IC から約 15 分

〈駐車場について〉

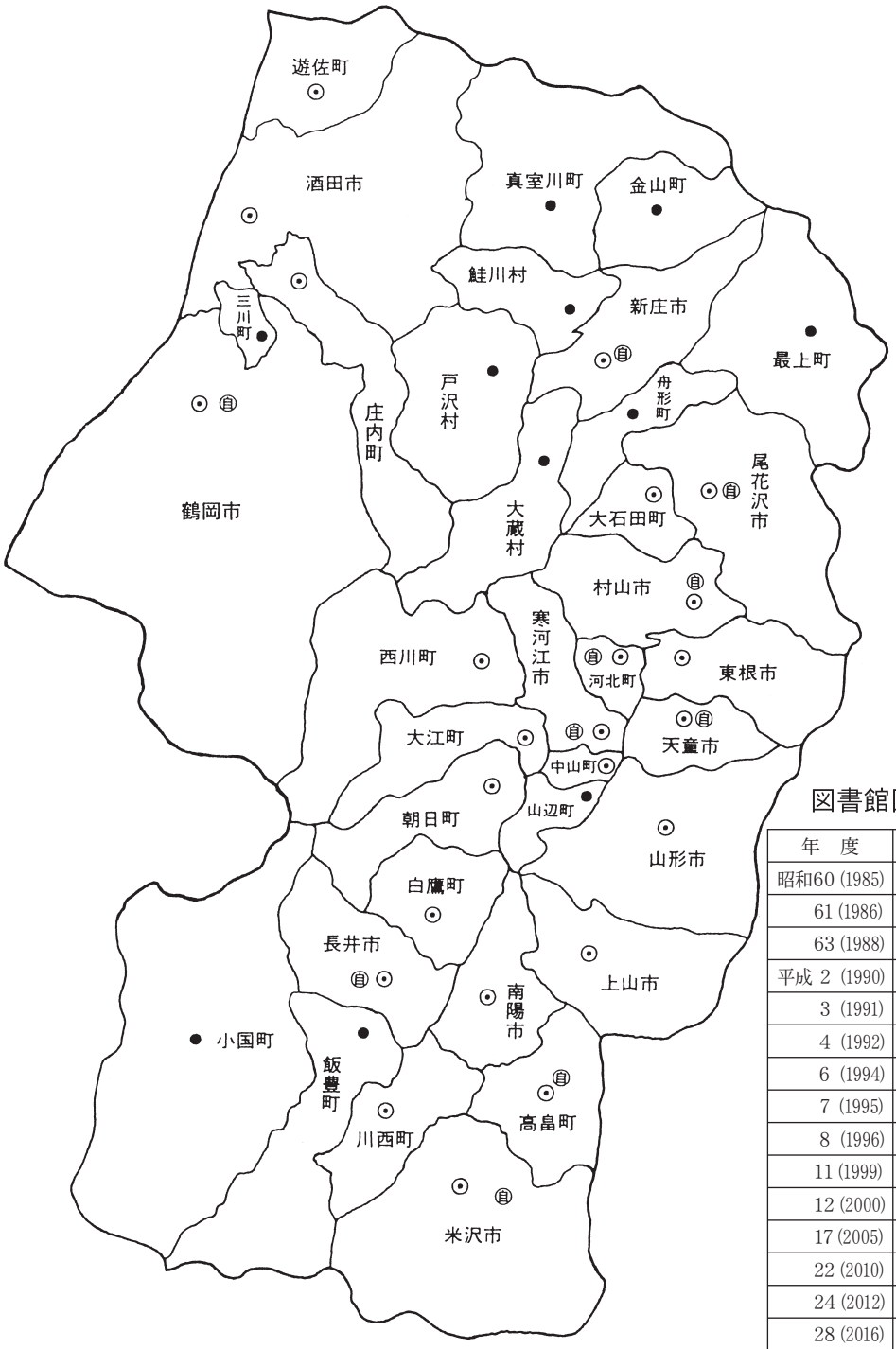
県営駐車場と遊学館駐車場をご利用の方は、入退館時に、それぞれ１階総合案内へ駐車券を提示してください。利用時間に応じて最大２時間まで無料となります。

※車いすをご利用の方には、遊学館入口付近に車いす利用者専用駐車場（１台）をご用意しています。ご利用の際は受付にお声がけください。

16　市町村立図書館の設置状況

（令和７年４月１日現在）

⊙図書館設置市町
● 公民館図書室等
㊎自動車文庫運営市町



図書館設置市町村

	市町村数	図書館設置市町村
市	13	13
町	19	11
村	3	—
計	35	24

図書館図書室設置市町村の推移

年　度	図書館	増加館	図書室	新築館
昭和60 (1985)	20		24	鶴岡市立
61 (1986)	21	櫛 引	23	櫛引町立
63 (1988)	21		23	新庄市立
平成 2 (1990)	22	遊 佐	22	山形県立
3 (1991)	22		22	寒河江市立
4 (1992)	22		22	遊佐町立
6 (1994)	22		22	川西町立
7 (1995)	22		22	河北町立 上山市立
8 (1996)	22		22	尾花沢市民
11 (1999)	23	東 根	21	東根さくらんぼ
12 (2000)	23		21	
17 (2005)	21		14	朝日町立 南陽市立
22 (2010)	21		14	村山市立
24 (2012)	22	中 山	13	中山町立
28 (2016)	23	大 江	12	大江町立 市立米沢　東根市
29 (2017)	24	大石田	11	大石田町立
令和 元 (2019)	24		11	白鷹町立 高畠町立
4 (2022)	24		11	酒田市立中央
5 (2023)	24		11	長井市立
6 (2024)	24		11	庄内町立

※平成 17 年度は市町村合併による減少である

17　縣人文庫展示者のプロフィール

山形県出身者の中で特に明治以降全国を活動の舞台として活躍された方々22 人を「縣人文庫」として紹介している。

政治経済の分野で活躍

平田 東助（ひらた とうすけ）　米沢市　1849 年～1925 年　政治家、産業組合運動の指導者、内大臣、伯爵

ドイツで学んだ信用組合論を基に、農民の経済自立、自主経営の組織化をめざして、産業組合制度を精力的に推進した。

池田 成彬（いけだ せいひん）　米沢市　1867 年～1950 年　銀行家、三井財閥の指導者

積極的な反面、合理的で冷静な判断で三井銀行の発展に活躍。日本銀行総裁、蔵相兼商工相、枢密顧問官を歴任。

結城 豊太郎（ゆうき とよたろう）　南陽市　1877 年～1951 年　銀行家、財政家

安田財閥の指導者、日本興行銀行総裁として昭和初期の不況対策に、また、日本銀行総裁としては戦時金融に指導力を発揮、活躍した。

海外で活躍

安達 峰一郎（あだち みねいちろう）　山辺町　1869 年～1934 年　外交官、国際法学者、常設国際司法裁判所長

第一次大戦後の複雑な国際情勢の中で、少数民族の権利擁護のために尽くした努力は、各国から高く評価されている。

芸術の分野で活躍

新海 竹太郎（しんかい たけたろう）　山形市　1868 年～1927 年　彫刻家

従来の洋風彫刻がイタリア系であったのに対して、北欧的な格調を持つ作品が注目された。「ゆあみ」はその代表作。

小松 均（こまつ ひとし）　大石田町　1902 年～1989 年　日本画家、文化功労者

最上川の全ルートを描くのを念願とした壮大な連作「最上川シリーズ」で芸術選奨文部大臣賞受賞、「雪の最上川」は院展内閣総理大臣賞受賞。

文学の分野で活躍

高山 樗牛（たかやま ちょぎゅう）　鶴岡市　1871 年～1902 年　文学者、評論家

「滝口入道」は若い読者から熱狂的な支持を得、「帝国文学」「太陽」の文芸欄での発言は、青年層に大きな影響を与えた。

斎藤 茂吉（さいとう もきち）　上山市　1882 年～1953 年　歌人、医師、文化勲章受賞、文化功労者

第一歌集「赤光」で一躍有名となり、「短歌写生の説」を実践、「実相観入」を提唱。「アララギ」主宰。歌集のほか、評論など多くの分野で活躍した。

浜田 広介（はまだ ひろすけ）　高畠町　1893 年～1973 年　童話作家

近代日本における幼年童話の創始者。作品は一般に「ひろすけ童話」と愛称され、年少児のための童話に新境地を開いたものと評価されている。

学術の分野で活躍

伊東 忠太（いとう ちゅうた） 米沢市 1867年～1954年 建築史家、建築家、文化功労者、文化勲章受章

日本で初めて建築を一つの科学となし、日本の建築芸術の発展経路を明らかにした。設計した作品は、平安神宮、築地本願寺等。

日下部 四郎太（くさかべ しろうた） 山形市 1875年～1924年 物理学者

「岩石の力学的研究」で、わが国の物理学では２回目、東北大学では第１号の帝国学士院賞受賞。

折下 吉延（おりしも よしのぶ） 新庄市 1881年～1966年 造園家

橿原神宮林苑、明治神宮林苑の造成、関東大震災後の東京・横浜の都市計画に、戦後は国立公園や自然公園の保護等に尽力した。

阿部 次郎（あべ じろう） 酒田市 1883年～1959年 哲学者、美学者、評論家

「三太郎の日記」によって多くの読者をひきつけ、人格主義を鼓吹して大正時代の思想に大きな影響を与えた。

小倉 金之助（おぐら きんのすけ） 酒田市 1885年～1962年 数学者、数学教育学者

数学史、数学教育、科学論等に優れた論著が多い。とくに「数学教育の根本問題」は、数学界に大きな刺戟を与えた。

高橋 里美（たかはし さとみ） 米沢市 1886年～1964年 哲学者、文化功労者

「包越の論理」にもとづく独自の観念論的哲学体系を組み立てた。純粋理論としての哲学で「最も哲学的な哲学」といわれる。

本間 久雄（ほんま ひさお） 米沢市 1886年～1981年 文芸評論家、英文学者、日本近代文学研究家

外国文学のみならず美術や演劇にわたる広範な知識を背景に、日本近代文学研究に新たに開拓した業績が多い。

平塚 英吉（ひらつか ひできち） 新庄市 1888年～1984年 農芸化学者、文化功労者

絹糸生成や蚕栄養に関する基礎的な研究等、蚕糸学に関する研究に大きな功績を残した。

新関 良三（にいぜき りょうぞう） 河北町 1889年～1979年 演劇学者、ドイツ文学者、文化功労者

「ギリシャ・ローマ演劇史」は、もっとも優れた西欧古代劇の研究であると同時に、日本人による外国文学研究の最高峰とされている。

大熊 信行（おおくま のぶゆき） 米沢市 1893年～1977年 経済学者、評論家、歌人

「生命再生産の理論」「資源配分の理論」等、人間中心の経済学を構想した経済学上の業績の他に、歌人としての業績も多い。

相良 守峯（さがら もりお） 鶴岡市 1895年～1989年 ドイツ文学者、ゲーテ研究の権威、文化功労者、文化勲章受章

独和、和独事典の編集で著名。「ドイツ中世叙事詩研究」等、日本における中世ドイツ文学研究の基礎をつくった。

我妻 栄（わがつま さかえ） 米沢市 1897年～1973年 法律学者、文化功労者、文化勲章受章

法解釈に新分野をひらき、独自の民法体系をつくりあげた「我妻民法」で知られる日本民法学界の最高峰。

堀米 庸三（ほりごめ ようぞう） 河北町 1913年～1975年 西洋史学者

戦後のヨーロッパ中世史研究を主導した一人。その門下からわが国の西洋史学研究に多くの後継者が輩出した。

18　ふるさと納税

使途明示型ふるさと納税　特定プロジェクト⑬

山形県立図書館サービス向上事業

2,000 円以上ご寄付いただいた方にご芳名を掲載した図書館だよりをお送りします

あなたの寄付を県立図書館の資料充実に活用します！

●「生涯学習の基盤となり、県民の成長と地域の賑わいに貢献する図書館」を目指して

山形県立図書館は、令和元年度のリニューアルによって、広さが 1.4 倍に拡大されるとともに、「こどもエリア」「ティーンズコーナー」「ビジネス支援コーナー」といった利用者別の空間や、電子黒板システムを備えた「アクティブラーニングルーム」が整備されるなど、県民が集い、学ぶための機能が大きく向上しました。

これらを最大限に活用し、全ての県民が利用しやすい図書館づくりを進めていくため、「山形県立図書館運営基本プラン 2025」を令和４年３月に策定しました。その基本理念に掲げた「県民一人ひとりの生涯学習の基盤となり、知の集積と循環によって、新たな知恵や活力を生み出し、県民の成長と地域の賑わいに貢献する図書館」を目指して、県民の生涯学習のニーズに応える資料の整備と活用、来館や本との出会いのきっかけとなる企画展示やイベントの実施、ＩＣＴの活用や県内図書館との連携による県全域へのサービスの拡充などに取り組んでいるところです。



▲エントランス



▲新聞・雑誌コーナー

●寄付の使い道について

より魅力的な図書館にするためには、施設面の充実だけでなく、図書資料の充実も必要です。
本事業にいただいた寄付金は、県立図書館の図書資料購入に活用させていただき、豊富な図書資料を揃えた魅力的な図書館づくりに取り組んでまいります。

【活用例】
・子どもエリアに配置する図書の購入。
・その他利用者ニーズ等を踏まえた図書の充実に活用します。





●お礼状及び図書館だより「本の森通信」をお送りします。

本事業にご賛同いただき、ご寄付いただきました方には、お礼状とご芳名を記載した図書館だより「本の森通信」をお送りいたします。

● お問い合わせは　山形県　教育局　生涯教育・学習振興課　図書館活性化担当 023-630-2831

これまでの実績

年　度	件　数	金　額
令和２年度	４件	12,000円
令和３年度	４件	56,000円
令和４年度	４件	46,000円
令和５年度	３件	40,000円
令和６年度	１４件	112,000円

19　山形県立図書館　雑誌スポンサー

図書館であなたの会社をPR♪
雑誌スポンサー大募集！

1. 毎日700名、週末1,000名の方が来館しています！

2. 年間20万名の方に、御社の情報を提供できます！

3. 御負担は毎月数百円から可能です！
　たとえば…800円の月刊雑誌を提供など

雑誌スポンサー制度とは…

県立図書館の雑誌の提供スポンサーになっていただき、雑誌のカバーを広告媒体としてご利用いただくことで、図書館利用者へ貴社のPRができる制度です。

スポンサーとして選んだ本の購入代金を、所定の書店にお支払いいただきます。

企業や商店はもちろん、団体、個人事業主の方であれば、どなたでもOK！　ただし、図書館の雑誌スポンサーにふさわしくない企業等はお断りする場合がありますので、ご了承ください。

お問い合わせはこちらまで↓
山形県立図書館企画課　〒990－0041　山形県山形市緑町1－2－36
TEL:023－631－2523　　FAX:023－625－6520
HP:https://www.lib.pref.yamagata.jp/

●山形県立図書館 雑誌スポンサー一覧（令和７年度４月）

No	スポンサー名	スポンサー開始月	雑誌名
1	株式会社山形銀行	平成２６年６月	プレジデント
2	株式会社荘内銀行	平成２６年８月	モンテディオ山形ファンマガジンＲｕｓｈ
3	東北労働金庫	平成２８年５月	日経マネー
			日経WOMAN
4	七日町商店街振興組合	平成２９年４月	月刊山形ZERO☆２３
5	株式会社本間利雄設計事務所	令和　４年８月	芸術新潮
6	山形モータース株式会社	令和　４年８月	モーターマガジン
7	合同会社ベルプラス（学習塾スゴラボ／自習室スゴラボ）	令和　５年６月	蛍雪時代　臨時増刊

20　山形県立図書館利用規程

令和６年 12 月６日生学第 382 号県教育長承認

（趣旨）

第１条　この規程は、教育機関の組織及び運営に関する規則（昭和 41 年４月県教育委員会規則　第２号）第 13 条の規定に基づき、山形県立図書館（以下「本館」という。）の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

（利用カード）

第２条　本館の資料を利用する場合には、開架資料を館内で利用する場合を除き、利用カードによって行わなければならない。

２　前項に定める利用カードの交付を受けることのできる者は、県内に住所を有する者又は県内に通勤若しくは通学する者とする。

３　利用カードの交付を受けようとする者は、住所等を証明する書類を提示のうえ、利用カード申込書（別記様式第１号）を館長に提出し、利用者の登録をしなければならない。

４　館長は、利用者が最後に利用してから５年間利用しない場合は、利用者の登録を取消すことができる。

５　利用カードの交付を受けた者は、申込書の記載事項に変更が生じたときは、利用カード申込書により速やかにその旨を館長に届け出なければならない。

６　利用カードを亡失した者は、その旨を速やかに館長に申し出なければならない。

７　利用カードを亡失し、又は毀損した者は、利用カード申込書を提出することにより、利用カードの再交付を受けることができる。

８　利用カードは、他人に貸与してはならない。

９　第２条第５項、第６項及び第８項に違反する行為によって生じた本館の損害については、利用カードの交付を受けた者が負担しなければならない。

（館外利用の方法）

第３条　本館以外の場所（以下「館外」という。）で資料を利用しようとする者は、係員に利用カードと資料を提示し、館外貸出の手続きをとらなければならない。

２　利用者は自動貸出機を使用して、自ら館外貸出手続きをすることができる。

３　利用者が利用カードを持参しなかった場合は、仮貸出票(別記様式第２号) を係員に提出することにより、資料の館外貸出を受けることができる。

（館外利用点数）

第４条　館外で利用できる資料の点数は、未返却資料を含め 10 点以内とする。

２　館外で利用できる視聴覚資料は３点以内とし、前項に定める利用点数に含むものとする。

３　館長は、必要と認めたときは、貸出点数を制限することができる。

（館外利用期間）

第５条　館外で資料を利用できる期間は、貸出を受けた翌日から３週間以内とする。

２　視聴覚資料の館外での利用期間は、貸出を受けた翌日から１週間以内とする。

３　館長は、必要と認めたときは、前２項の期間内であっても資料の返却を求めることができる。

（館外利用の制限）

第６条　次の各号に掲げる資料は、館内でのみ利用することができる。

（１）官報、山形県公報及び新聞

（２）逐次刊行物の最新号

（3）郷土資料（ただし、２冊以上の複本のあるものを除く。）
（4）参考図書として指定したもの
（5）マイクロフィルム資料
（6）その他館長の指定したもの
（館内利用の方法）
第７条　本館の資料は、館内の所定の場所において自由に利用することができる。
２　視聴覚資料を館内で視聴しようとする者は、係員に利用カードと資料を提示して借り受け、所定の場所で利用しなければならない。ただし、マイクロフィルムを利用する場合は、利用申込票（別記様式第３号）を係員に提出しなければならない。
３　視聴覚資料を館内で視聴できる点数は、一人１日２点以内とする。
４　CD-ROM 媒体又はインターネット上の各種データベースを館内で利用しようとする者は、利用申込票を係員に提出し、所定の場所で利用しなければならない。
５　閉架資料を利用しようとする者は、貸出請求票又は資料請求票（別記様式第４号）を利用カードとともに係員に提出しなければならない。
（返納）
第８条　利用者は、館外貸出を受けた資料を所定の貸出期間内に係員に返納しなければならない。
２　開館時間外にあっては、視聴覚資料及び大型本を除く資料はブックポストに返却することができる。
３　利用者は、館内での資料の利用が終ったときは、開架資料は利用者自らが開架書架の配架場所に返却し、閉架資料及び視聴覚資料はそれぞれ係員に返納しなければならない。
（督促及び貸出停止）
第９条　館長は、貸出期間を過ぎても資料を返却しない利用者に対し、督促を行うことができる。
２　館長は、前項の督促を引き続き３回以上受けた利用者に対し、資料が返却されるまでの間、新規の貸出を停止することができる。
（弁償）
第 10 条　利用者は、資料を亡失若しくは汚損したときは、速やかに資料紛失毀損届（別記様式第５号）を館長に提出するとともに、その損害を弁償しなければならない。
２　前項に規定する資料の損害は、現品又は相当の金額で弁償するものとする。ただし、現品での弁償が困難な場合は、同等品をもって弁償することができる。
３　館長は、督促をしても返却に応じない第９条第２項の利用者に対して、前２項により弁償を求めることができる。
（インターネット予約貸出）
第 11 条　中学生以上で、電子メールアドレスを保有している者は、インターネット予約貸出を受けることができる。
２　インターネット予約貸出を受ける者は、第２条に定める利用カードの交付と Ｍｙライブラリログイン用パスワードの発行を受けなければならない。
３　前項の規定により登録した者は、本館ホームページの「インターネット予約貸出申込画面」から申込むことができる。
４　前項の規定により申込みをした資料を受領する者は、本館並びに本館が指定する公共図書館及び公民館図書室等（以下「受取館」という。）で資料を受け取ることができる。
５　前項の規定により受け取った資料を返却する者は、その資料を受け取った受取館へ返却しなければならない。
６　貸出期間は、貸出日の翌日から 30 日以内とする。ただし、本館で受け取る場合は貸出日の翌日

から３週間以内とする。
７　貸出できる資料は、図書及び逐次刊行物で第６条で規定された資料以外のものとする。
（郵送による館外貸出）
第 12 条　利用カードの交付を受けた者は、郵送等による資料の貸出を受けることができる。
２　前項の館外貸出のために要する費用は、利用者の負担とする。
（特別貸出）
第 13 条　館長は、公用、学術研究、その他特別の事情があると認めたときは、第２条第１項、第４条、第５条、及び第６条の規定にかかわらず資料を貸出することができる。
２　前項の貸出を受けようとする利用者は、特別貸出借用書（別記様式第６号）を館長に提出しなければならない。
（図書館間貸出）
第 14 条　次の各号に掲げる施設は、資料の貸出を受けることができる。
（１）公共図書館、公民館図書室、学校図書館及び大学図書館
（２）その他館長が適当と認める施設
２　前項の場合において、館長は必要に応じて貸出点数を制限することができる。
３　貸出期間は、貸出日から１か月以内とする。ただし、館長が特に必要と認めた場合は、その期間を変更することができる。
４　前３項の規定にかかわらず、視聴覚資料の貸出対象施設は、県内の施設及び社会教育団体等に限るものとし、貸出点数及び貸出期間を、１回につき５点以内でかつ、１週間以内とする。
５　貸出を受けようとする施設は、資料借受申込書（別記様式第７号）を館長に提出しなければならない。
６　資料の返納に係る経費（郵送料等）は、借受施設の負担とする。
（一括特別貸出）
第 15 条　次の各号に掲げる県内の施設は、読書活動を助長するため、資料の一括特別貸出を受けることができる。
（１）公共図書館及び公民館図書室
（２）その他館長が適当と認める施設
２　前項の貸出を受けようとする施設は、一括特別貸出申請書（別記様式第８号）を館長に提出しなければならない。
３　１の施設に対する貸出点数は、500 点以内とする。ただし、館長が特に認めた場合は、この限りではない。
４　貸出期間は、貸出日から１年以内とする。
（利用資料の予約等）
第 16 条　本館に来館した利用者は、利用したい資料が、貸出中又は未所蔵等の理由で利用できない場合には、その資料について利用の予約又は図書館間貸出の申し込み、あるいは購入の希望をすることができる。
２　前項の利用の予約又は図書館間貸出の申し込み、あるいは購入の希望は、貸出予約申込書（別記様式第９号）を館長に提出して行うものとする。
３　前項で申し込んだ予約を利用者が取り下げたい場合は、予約取り下げ申出書（別記様式第 10 号）を館長に提出しなければならない。
４　中学生以上の利用者は、利用者検索用端末機を使用して貸出中の資料に対して自ら利用予約の手続きをすることができる。
５　前項の場合、パスワード発行申込書（別記様式第 11 号）を館長に提出し、自らパスワードを登

録しなければならない。

（資料の複写）

第17条　資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条第1項第1号の規定に基づき利用者の調査研究の用に供するために、本館が所蔵する公表された著作物の一部分について、1人1件につき1部のみ行うことができる。

第18条　資料を複写しようとする者は、複写申込書（別記様式第12号）を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2　複写に要する経費は、申込者の負担とする。

3　複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負わなければならない。

第19条　次の各号に掲げる資料の複写は、許可しない。

（1）技術的に複写が困難な資料

（2）複写することによって損傷するおそれのある資料

（3）前2号に掲げるもののほか、館長が、複写することについて不適当と認めた資料

2　本館の業務に支障をきたすと館長が認めたときは、複写枚数を制限することができる。

（調査相談）

第20条　調査相談をしようとする者は、口頭、電話、文書又は電子メールにより申し込むことができる。

第21条　調査相談の依頼に対しては、主として文献に基づいて調査し、回答を行うものとする。

第22条　依頼事項が次の各号に該当する場合は、調査相談に応じないものとする。

（1）古書、古文書及び美術品等の鑑定並びに市場価格の調査

（2）宿題、卒業論文及び懸賞問題に関する調査

（3）翻訳及び注釈並びに医療相談及び法律相談

（4）その他館長が不適当と認めるもの

2　前項以外の場合であっても、特に経費又は時間を要し他の業務に支障を及ぼすおそれがあると館長が認めたときは、調査に応じないものとする。

（研究室の利用）

第23条　本館の資料を利用してグループ研究等を行う者及び館長が必要と認めた者は、研究室を利用することができる。

2　研究室を利用しようとする者は、研究室利用申込書（別記様式第13号）を提出して館長の許可を受けなければならない。

（補則）

第24条　この規程の施行に関し、必要な事項は、館長が別に定める。

附則

1　この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2　山形県立図書館利用規程（平成2年7月27日）は、廃止する。

3　この規程は、平成19年9月1日から施行する。

4　この規程は、平成21年4月1日から施行する。

5　この規程は、平成26年5月20日から施行する。

6　この規程は、令和元年7月3日から施行する。

7　この規程は、令和4年3月31日から施行する。

8　この規程は、令和6年12月6日から施行する。

ホームページ
ＰＣ・ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ用

Instagram

Facebook

X

発　行　**山　形　県　立　図　書　館**

〒990-0041　山形市緑町一丁目２－36
電　話　(023)631-2523(代)
　　(023)633-0165(本の相談)
ＦＡＸ　(023)625-6520